令和７年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の概要について（資料編）

千葉県教育庁教育振興部
児 童 生 徒 安 全 課

本調査は、児童生徒の生徒指導上の諸課題の現状を把握し、今後の施策の推進を目的に毎年実施されている文部科学省所管の統計調査です。
本概要は、暴力行為、いじめ、長期欠席、不登校、高等学校の中途退学、自殺に関する令和７年度調査の本県分（千葉市を含む公立学校）を取りまとめたものです。

■ 主な調査結果の前年度比較

項 目	令和７年度	令和６年度	増減
暴力行為の発生件数	６，９８１件	８，２０９件	１，２２８件減少
いじめの認知件数	５１，６８３件	５４，７２４件	３，０４１件減少
小・中・義務教育・中等教育学校不登校児童・生徒数	１５，３０８人	１４，５９９人	７０９人増加
高等学校不登校生徒数	３，２６５人	３，１７８人	８７人増加
中途退学者数	９８１人	９５１人	３０人増加

１　調査項目及び対象

（１）暴力行為
県内全公立小・中・義務教育・中等教育・高等学校

（２）いじめ
県内全公立小・中・義務教育・中等教育・高等学校及び特別支援学校

（３）小学校及び中学校における長期欠席の状況等
県内全公立小・中・義務教育・中等教育学校及び特別支援学校小・中学部

（４）高等学校における長期欠席の状況等
県内全公立高等学校・中等教育学校及び特別支援学校高等部

（５）高等学校における中途退学者数等の状況
県内全公立高等学校・中等教育学校及び特別支援学校高等部

（６）自殺
県内全公立小・中・義務教育・中等教育・高等学校及び特別支援学校
※義務教育学校においては、前期課程は小学校に、後期課程は中学校に含む。
※中等教育学校においては、前期課程は中学校に、後期課程は高等学校に含む。
※令和７年度から、特別支援学校における調査では、「長期欠席」「不登校」「高等学校の中途退学」「自殺」に関する内容を調査項目に加えた。なお、「自殺」については、特別支援学校小学部は小学校に、特別支援学校中学部は中学校に、特別支援学校高等部は高等学校に含む。

２　調査対象期間

令和７年４月１日から令和８年３月３１日までの１年間

３　調査結果の概要

（１）小･中･高等学校における暴力行為の発生件数は６，９８１件で、前年度の８，２０９件より１，２２８件減少している。　※Ｐ８表１、Ｐ１０

ア　校種別発生件数

小学校における発生件数は５，２３５件で、前年度の６，３３３件より１，０９８件減少している。

中学校における発生件数は１，５２５件で、前年度の１，７１４件より１８９件減少している。

高等学校における発生件数は２２１件で、前年度の１６２件より５９件増加している。

イ　形態別発生件数

（ア）対教師暴力

小学校における発生件数は３９６件で、前年度の２２３件より１７３件増加している。中学校における発生件数は１２５件で、前年度の８２件より４３件増加している。高等学校における発生件数は５件で、前年度の６件より１件減少している。

（イ）生徒間暴力

小学校における発生件数は４，４８７件で、前年度の５，７７７件より１，２９０件減少している。中学校における発生件数は１，１５８件で、前年度の１，３１７件より１５９件減少している。高等学校における発生件数は１４８件で、前年度の１１９件より２９件増加している。

（ウ）対人暴力

小学校における発生件数は１４件で、前年度の６件より８件増加している。中学校における発生件数は１１件で、前年度の１４件より３件減少している。高等学校における発生件数は４件で、前年度の４件と同数である。

（エ）器物損壊

小学校における発生件数は３３８件で、前年度の３２７件より１１件増加している。中学校における発生件数は２３１件で、前年度の３０１件より７０件減少している。高等学校における発生件数は６４件で、前年度の３３件より３１件増加している。

（２）小･中･高等学校･特別支援学校におけるいじめの認知件数は５１，６８３件で、前年度の５４，７２４件より３，０４１件減少している。　※Ｐ８表２・３、Ｐ１１～１５

ア　校種別認知件数

（ア）小学校における認知件数は、４２，９７７件で、前年度の４６，５６２件より３，５８５件減少している。

（イ）中学校における認知件数は７，６０５件で、前年度の７，０３１件より５７４件増加している。

（ウ）高等学校における認知件数は８７２件で、前年度の９７９件より１０７件減少している。

（エ）特別支援学校における認知件数は２２９件で、前年度の１５２件より７７件増加している。

イ　いじめの現在の状況

いじめの現在の状況（令和８年３月３１日現在）としては、「解消しているもの」が３９，７３８件で、全認知件数の７６．９％、「解消に向けて取組中」

が１１，８６２件で２３．０％、「その他」が８３件で０．２％である。

ウ　いじめの発見のきっかけ

（ア）小学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位３つは、①アンケート調査など（６８．５％）、②本人からの訴え（１２．８％）、③学級担任（７．８％）である。

（イ）中学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位３つは、①アンケート調査など（４３．２％）、②本人からの訴え（２３．９％）、③当該児童生徒の保護者の訴え（１０．３％）である。

（ウ）高等学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位３つは、①アンケート調査など（５５．７％）、②本人からの訴え（２０．４％）、③該児童生徒の保護者の訴え（６．８％）である。

（エ）特別支援学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位３つは、①アンケート調査など（７８．６％）、②本人からの訴え（８．３％）、③学級担任（７．９％）である。

エ　いじめられた児童生徒の相談の状況

（ア）小学校の児童の「相談の状況」のうち上位３つは、①学級担任に相談（８８．９％）、②保護者や家族等に相談（２０．６％）、③友人に相談（４．６％）である。

（イ）中学校の生徒の「相談の状況」のうち上位３つは、①学級担任に相談（８２．７％）、②保護者や家族等に相談（２２．６％）、③学級担任以外の教職員に相談（１６．５％）である。

（ウ）高等学校の生徒の「相談の状況」のうち上位３つは、①学級担任に相談（７２．２％）、②保護者や家族等に相談（２９．７％）、③学級担任以外の教職員に相談（２７．４％）である。

（エ）特別支援学校の児童生徒の「相談の状況」のうち上位３つは、①学級担任に相談（９４．８％）、②保護者や家族等に相談（１６．６％）、③学級担任以外の教職員に相談（５．７％）である。

オ　いじめの態様

（ア）小学校での「いじめの態様」のうち上位３つは、①冷やかしやからかい、悪口等（５６．５％）、②軽くぶつかられる、たたかれる等（２６．２％）、③嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたりさせられたりする（１５．４％）である。

（イ）中学校での「いじめの態様」のうち上位３つは、①冷やかしやからかい、悪口等（６６．０％）、②軽くぶつかられる、たたかれる等（１２．８％）、③嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたりさせられたりする（１０．８％）である。

（ウ）高等学校での「いじめの態様」のうち上位３つは、①冷やかしやからかい、悪口等（６６．１％）、②仲間はずれ、集団による無視（２０．４％）、③パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる（１５．１％）である。

（エ）特別支援学校での「いじめの態様」のうち上位３つは、①冷やかしやからかい、悪口等（５１．５％）、②軽くぶつかられる、たたかれる等（１７．９％）、③嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたりさせられたりする及び仲間はずれ、集団による無視（９．６％）である。

カ　小・中・高等学校・特別支援学校におけるいじめ重大事態の発生件数は、第１号４０件、第２号２４件、第１号かつ第２号２４件、計８８件である。

（３）小学校における長期欠席児童数は１２，７２１人で、全児童に対する割合は４．４１％である。長期欠席児童の中で不登校を理由としている児童数は６，２７１人で、前年度の６，１２１人より１５０人増加し、全児童に対する割合は２．１８％で０．０９ポイント増加している。

中学校における長期欠席生徒数は１２，７２４人で、全生徒に対する割合は８．９５％である。長期欠席生徒の中で不登校を理由としている生徒数は９，０３７人で、前年度の８，４７８人より５５９人増加し、全生徒に対する割合は６．３５％で０．４６ポイント増加している。

特別支援学校小・中学部における長期欠席児童生徒数は６４８人（小学部４２２人、中学部２２６人）で、全児童生徒に対する割合は１５．０３％である。長期欠席児童生徒の中で不登校を理由としている児童生徒数は３１人（小学部１９人、中学部１２人）で、全児童生徒に対する割合は０．７２％である。

※Ｐ９表４、Ｐ１６～Ｐ２０

※不登校児童生徒数は、令和７年度に通算して３０日以上欠席した児童生徒のうち「不登校」を理由とする児童生徒数を表す。

ア　長期欠席者の状況

（ア）小学校の長期欠席者１２，７２１人のうち、「病気」は4，２３１人で長期欠席者全体に対する割合は３３．３％、「経済的理由」は０人、「不登校」は６，２７１人で長期欠席者全体に対する割合は４９．３％、「その他」は２，２１９人で長期欠席者全体に対する割合は１７．４％である。

（イ）中学校の長期欠席者１２，７２４人のうち、「病気」は3，０５７人で長期欠席者全体に対する割合は２４．０％、「経済的理由」は０人、「不登校」は９，０３７人で、長期欠席者全体に対する割合は７１．０％、「その他」は６３０人で長期欠席者全体に対する割合は５．０％である。

（ウ）特別支援学校小・中学部の長期欠席者６４８人のうち、「病気」は３８３人で長期欠席者全体に対する割合は５９．１％、「経済的理由」は３人で長期欠席者全体に対する割合は０．５％、「不登校」は３１人で長期欠席者全体に対する割合は４．８％、「その他」は２３１人で長期欠席者全体に対する割合は３５．７％である。

イ　不登校児童生徒の欠席の状況

（ア）小学校の不登校児童で「うち、５０日以上欠席している者」の割合は７０．６％、「うち、９０日以上欠席している者」の割合は４４．０％、「うち、出席日数が１０日以下の者」の割合は7．５％、「うち、出席日数が０日の者」の割合は2．４％である。

（イ）中学校の不登校生徒で「うち、５０日以上欠席している者」の割合は８１．７％、「うち、９０日以上欠席している者」の割合は６１．０％、「うち、出席日数が１０日以下の者」の割合は１１．４％、「うち、出席日数が０日の者」の割合は3．２％である。

（ウ）特別支援学校小・中学部の不登校児童生徒で「うち、５０日以上欠席している者」の割合は８３．９％（小学部７８．９％、中学部９１．７％）、「うち、９０日以上欠席している者」の割合は５４．８％（小学部４７．４％、中学部６６．７％）、「うち、出席日数が１０日以下の者」の割合は２２．６％（小学部１０．５％、中学部４１．７％）、「うち、出席日数が０日の者」の割合は3．２％（小学部０％、中学部８．３％）である。

ウ　不登校児童生徒への指導結果状況

（ア）小学校の不登校児童で「指導の結果登校する又はできるようになった児童」の割合は、２４．９％である。

（イ）中学校の不登校生徒で「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」の割合は、２５．６％である。

（ウ）特別支援学校小・中学部の不登校児童生徒で「指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒」の割合は、３５．５％（小学部４７．４％、中学部１６．７％）である。

エ　不登校児童生徒について把握した事実

（ア）小学校の不登校児童について把握した事実のうち上位３つは、①学校生活（３０．４％）、②不安・抑うつ（２５．０％）、③生活リズムの不調（１９．８％）である。なお「いじめの被害」は０．９％である。

（イ）中学校の不登校生徒について把握した事実のうち上位３つは、①学校生活（３３．１％）、②不安・抑うつ（２３．８％）、③生活リズムの不調（２３．０％）である。なお「いじめの被害」は０．６％である。

（ウ）特別支援学校小・中学部の不登校児童生徒について把握した事実のうち上位３つは、①生活リズムの不調（３５．５％）、②学校生活（３２．３％）、③不安・抑うつ及び個別の配慮（６．５％）である。なお「いじめの被害」は０.０％である。

オ　不登校児童生徒が相談・指導等を受けた学校内外の機関等

（ア）小学校の不登校児童で「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位３つは、①スクールカウンセラー、相談員等（２５．８％）、②校内教育支援センター等の教員や支援員等（１５．５％）、③養護教諭（１２．８％）である。学校内外の機関等による相談・指導等を受けていない人数は２，２８１人（３６．４％）で、そのうち教職員から継続的な相談指導等を受けていた人数は２，２０６人（３５．２％）である。

（イ）中学校の不登校生徒で「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位３つは、①校内教育支援センター等の教員や支援員等（２３．１％）、②スクールカウンセラー、相談員等（２０．６％）、③養護教諭（１５．３％）である。学校内外の機関等による相談・指導等を受けていない人数は３，２８４人（３６．３％）で、そのうち教職員から継続的な相談指導等を受けていた人数は３，１３６人（３４．７％）である。

（ウ）特別支援学校小・中学部の不登校児童生徒で「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位３つは、①校内教育支援センター等の教員や支援員等（１２．９％（小学部１５．８％、中学部８．３％））、①児童相談所、福祉事務所（１２．９％（小学部１０．５％、中学部１６．７％））、③病院、診療所（９．７％（小学部０％、中学部２５．０％））である。学校内外の機関等による相談・指導等を受けていない人数は１９人（６１．３％（小学部７３．７％、中学部４１．７％））で、そのうち教職員から継続的な相談指導等を受けていた人数は１１人（３５．５％(小学部５２．６％、中学部８．３％)）である。

（４）高等学校における長期欠席生徒数は４，２６９人で、全生徒に対する割合は４．９１％である。長期欠席生徒の中で不登校を理由としている生徒数は３，２６５人で、前年度の３，１７８人より８７人増加し、全生徒に対する割合は３．７５％で前年度より０．１３ポイント増加している。

特別支援学校高等部における長期欠席生徒数は４４６人で、全生徒に対する割合

は１３．６１%である。長期欠席生徒の中で<u>不登校を理由としている生徒数は２１１人</u>で、全生徒に対する割合は６．４４%である。
※Ｐ９表４・５、Ｐ２１～２４

ア　長期欠席者の状況

（ア）高等学校の長期欠席者４，２６９人のうち、「病気」は７９４人で長期欠席者全体に対する割合は１８．６%、「経済的理由」は２４人で長期欠席者全体に対する割合は０．６%、「不登校」は３，２６５人で長期欠席者全体に対する割合は７６．５%、「その他」は１８６人で長期欠席者全体に対する割合は４．４%である。

（イ）高等学校の長期欠席者で「不登校」を理由としている生徒のうち、全日制の生徒数は２，４４９人で、全日制生徒全体に対する割合は２．９%、定時制の生徒数は８１６人で、定時制生徒全体に対する割合は３２．６%である。

（ウ）特別支援学校高等部の長期欠席者４４６人のうち、「病気」は１６０人で長期欠席者全体に対する割合は３５．９%、「経済的理由」は０人、「不登校」は２１１人で長期欠席者全体に対する割合は４７．３%、「その他」は７５人で長期欠席者全体に対する割合は１６．８%である。

イ　不登校生徒の欠席の状況

（ア）高等学校の不登校生徒で「うち、５０日以上欠席している者」の割合は３６．２%、「うち、９０日以上欠席している者」の割合は８．０%、「うち、出席日数が１０日以下の者」の割合は１．３%、「うち、出席日数が０日の者」の割合は０．６%である。

（イ）特別支援学校高等部の不登校生徒で「うち、５０日以上欠席している者」の割合は３２．７%、「うち、９０日以上欠席している者」の割合は２４．２%、「うち、出席日数が１０日以下の者」の割合は５．７%、「うち、出席日数が０日の者」の割合は０%である。

ウ　不登校生徒への指導結果状況

（ア）高等学校の不登校生徒で「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」の割合は、全日制で６０．１%、定時制で５６．３%である。

（イ）特別支援学校高等部の不登校生徒で「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」の割合は、１８．０%である。

エ　不登校について把握した事実

（ア）全日制の生徒の不登校について把握した事実のうち上位３つは、①学校生活（２９．４%）、②生活リズムの不調（２６．３%）、③学業の不振（１５．２%）である。なお「いじめの被害」は１．１%である。

（イ）定時制の生徒の不登校について把握した事実のうち上位３つは、①学校生活（３５．４%）、②生活リズムの不調（２１．３%）、③学業の不振（９．８%）である。なお「いじめの被害」は０．１%である。

（ウ）特別支援学校高等部の生徒の不登校について把握した事実のうち上位３つは、①学校生活（３３．２%）、②生活リズムの不調（２７．５%）、③不安・抑うつ（１４．７%）である。なお「いじめの被害」は0.0%である。

オ　不登校生徒が相談・指導等を受けた学校内外の機関等

（ア）高等学校の不登校生徒が「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位３つは、①養護教諭（２７．０%（全日制２８．０%、定時制２４．０%））、②スクールカウンセラー、相談員等（２６．２%（全日制２６．４%、定時制２５．５%））、③校内教育支援センター等の教員や支援員等（８．９%（全日制１０．８%、定時制２．９%））である。学校内外の機関等による相談・

指導等を受けていない人数は1，４１２人（４３．２％（全日制４１．６％、定時制４８．２％））で、そのうち教職員から継続的な相談指導等を受けていた人数は1，３８２人（４２．３％（全日制４０．５％、定時制４７．７％））である。

（イ）特別支援学校高等部の不登校生徒が「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位３つは、①校内教育支援センター等の教員や支援員等（２３．２％）、②スクールカウンセラー、相談員等（１１．８％）、③病院、診療所（１１．４％）である。学校内外の機関等による相談・指導等を受けていない人数は１２８人（６０．７％）で、そのうち教職員から継続的な相談指導等を受けていた人数は１１３人（５３．６％）である。

（５）高等学校の中途退学者数は９８１人で、前年度の９５１人より３０人増加し、年度当初の在籍者数に対する割合は１．１１％であり、前年度の１．０７％より０．０４ポイント増加している。

課程別の中途退学者数にみると、全日制が７４６人で、前年度の７４２人より４人増加、定時制は１８４人で、前年度の１６６人より１８人増加、通信制は５１人で、前年度の４３人より８人増加している。

特別支援学校高等部の中途退学者数は２９人で、年度当初の在籍者数に対する割合は１．００％である。

※Ｐ９表６、Ｐ２５・２６

※令和７年４月１日の在籍者数８８，２４６人（高等学校）、２，８９８人（特別支援学校高等部）を基準とする中途退学率

ア　課程別の中途退学率は、全日制が０．８８％で前年度の０．８７％より０．０１ポイント増加している。定時制は7．３４％で前年度の6．５９％より０．７５ポイント増加している。通信制は4．２６％で前年度の3．８１％より０．４５ポイント増加している。

イ　全日制の学年別中途退学率は、第１学年では１．６４％、第２学年では１．１２％、第３学年では０．４１％である。また、単位制では０．３３％である。

ウ　高等学校の全中途退学者数に対する割合は、全日制において第１学年では４７．５％、第２学年では３１．９％、第３学年では１１．４％、単位制では９．２％である。

エ　高等学校及び特別支援学校高等部における中途退学の理由の上位３つは、①学校生活・学業不適応（５６．６％）、②進路変更（２１．４％）、③学業不振（１３．０％）である。

（ア）「進路変更」の内訳としての上位３つは、①別の高校及び特別支援学校高等部への入学を希望（１２．４％）、②就職を希望（５．７％）、③高卒程度認定試験受験を希望（１．３％）である。

（６）小･中･高等学校における自殺者数は２０人である（小学校０人、中学校９人、高等学校１１人）。

※Ｐ９表７

千葉県公立学校の問題行動 ・不登校等の諸課題の概要

1 暴力行為

校種別		小学校(件)	中学校(件)	高等学校(件)	合 計(件)	増 減
形態・年度		合計(うち学校外)	合計(うち学校外)	合計(うち学校外)	合計(うち学校外)	
対教師	27年度	145 (0)	155 (1)	12 (0)	312 (1)	△ 168
暴 力	28年度	127 (0)	257 (0)	7 (0)	391 (0)	79
	29年度	358 (0)	151 (0)	12 (0)	521 (0)	130
	30年度	230 (0)	88 (0)	13 (0)	331 (0)	△ 190
	元年度	407 (0)	101 (0)	9 (0)	517 (0)	186
	2年度	187	53	5	245	△ 272
	3年度	363	78	4	445	200
	4年度	441	66	3	510	65
	5年度	253	78	7	338	△ 172
	6年度	223	82	6	311	△ 27
	7年度	**396**	**125**	**5**	**526**	**215**
生徒間	27年度	1,131 (54)	1,164 (62)	152 (9)	2,447 (125)	275
暴 力	28年度	1,285 (47)	1,190 (42)	119 (16)	2,594 (105)	147
	29年度	1,882 (81)	976 (40)	123 (12)	2,981 (133)	387
	30年度	2,103 (73)	1,064 (47)	144 (8)	3,311 (128)	330
	元年度	2,767 (89)	993 (28)	146 (14)	3,906 (131)	595
	2年度	2,406	514	67	2,987	△ 919
	3年度	3,520	696	63	4,279	1,292
	4年度	4,895	926	50	5,871	1,592
	5年度	5,085	1,128	109	6,322	451
	6年度	5,777	1,317	119	7,213	891
	7年度	**4,487**	**1,158**	**148**	**5,793**	**△ 1,420**
対 人	27年度	24 (5)	55 (18)	7 (1)	86 (24)	14
暴 力	28年度	11 (2)	76 (38)	10 (7)	97 (47)	11
	29年度	18 (2)	54 (27)	10 (8)	82 (37)	△ 15
	30年度	22 (5)	47 (28)	13 (4)	82 (37)	0
	元年度	26 (9)	57 (19)	8 (8)	91 (36)	9
	2年度	103	35	3	141	50
	3年度	0	1	3	4	△ 137
	4年度	1	7	2	10	6
	5年度	3	10	5	18	8
	6年度	6	14	4	24	6
	7年度	**14**	**11**	**4**	**29**	**5**
器 物	27年度	143 (ー)	487 (ー)	43 (ー)	673 (ー)	△ 160
損 壊	28年度	116 (ー)	495 (ー)	43 (ー)	654 (ー)	△ 19
	29年度	197 (ー)	520 (ー)	45 (ー)	762 (ー)	108
	30年度	206 (ー)	378 (ー)	64 (ー)	648 (ー)	△ 114
	元年度	178 (ー)	375 (ー)	56 (ー)	609 (ー)	△ 39
	2年度	185	164	22	371	△ 238
	3年度	181	156	25	362	△ 9
	4年度	262	166	21	449	87
	5年度	295	247	43	585	136
	6年度	327	301	33	661	76
	7年度	**338**	**231**	**64**	**633**	**△ 28**
合計	27年度	1,443 (59)	1,861 (81)	214 (10)	3,518 (150)	△ 39
	28年度	1,539 (49)	2,018 (80)	179 (23)	3,736 (152)	218
	29年度	2,455 (83)	1,701 (67)	190 (20)	4,346 (170)	610
	30年度	2,561 (78)	1,577 (75)	234 (12)	4,372 (165)	26
	元年度	3,378 (98)	1,526 (47)	219 (22)	5,123 (167)	751
	2年度	2,881	766	97	3,744	△ 1,379
	3年度	4,064	931	95	5,090	1,346
	4年度	5,599	1,165	76	6,840	1,750
	5年度	5,636	1,463	164	7,263	423
	6年度	6,333	1,714	162	8,209	946
	7年度	**5,235**	**1,525**	**221**	**6,981**	**△ 1,228**

※令和2年度より、学校の管理下、管理下以外のいずれで発生したかに関わらず、発生件数を計上している。

2 いじめ

年 度	小学校(件)	中学校(件)	高等学校(件)	特別支援学校(件)	合 計(件)	増 減
27年度	22,537	6,499	213	127	29,376	3,565
28年度	24,876	6,376	253	112	31,617	2,241
29年度	28,951	6,267	448	167	35,833	4,216
30年度	31,641	6,898	763	180	39,482	3,649
元年度	42,775	7,994	956	342	52,067	12,585
2年度	34,206	5,144	640	240	40,230	△ 11,837
3年度	43,688	6,681	910	199	51,478	11,248
4年度	45,316	6,489	732	183	52,720	1,242
5年度	46,584	6,857	860	154	54,455	1,735
6年度	46,562	7,031	979	152	54,724	269
7年度	**42,977**	**7,605**	**872**	**229**	**51,683**	**△ 3,041**

3 いじめ重大事態

(1)号別発生件数

年 度	1号(件)	2号(件)	1号かつ2号(件)	合計(件)	増減
5年度	42	35	25	102	39
6年度	19	21	12	52	△50
7年度	**40**	**24**	**24**	**88**	**36**

(2)校種別発生件数

年 度	校 種				合計(件)	増 減			
	小学校(件)	中学校(件)	高等学校(件)	特別支援学校(件)		小学校	中学校	高等学校(件)	特別支援学校(件)
5年度	33	30	38	1	102	9	10	19	1
6年度	22	12	18	0	52	△11	△18	△20	△1
7年度	**20**	**36**	**32**	**0**	**88**	**△2**	**24**	**14**	**0**

4 不登校

(1)小・中・高等学校

年度	小学校		中学校		合計(人)	増減	高等学校		増減
	不登校児童数(人)	不登校率(%)	不登校生徒数(人)	不登校率(%)			不登校生徒数(人)	不登校率(%)	
27年度	1,233	0.39%	4,160	2.69%	5,393	272	2,604	2.51%	△ 335
28年度	1,456	0.46%	4,191	2.73%	5,647	254	2,658	2.55%	54
29年度	1,606	0.51%	4,637	3.06%	6,243	596	2,616	2.53%	△ 42
30年度	2,016	0.65%	5,100	3.44%	7,116	873	2,655	2.59%	39
元年度	2,352	0.76%	5,149	3.50%	7,501	385	2,381	2.37%	△ 274
2年度	2,691	0.88%	5,159	3.52%	7,850	349	1,593	1.62%	△ 788
3年度	3,583	1.18%	6,368	4.30%	9,951	2,101	2,270	2.41%	677
4年度	4,600	1.53%	7,482	5.09%	12,082	2,131	2,816	3.09%	546
5年度	5,713	1.93%	8,587	5.88%	14,300	2,218	3,108	3.52%	292
6年度	6,121	2.09%	8,478	5.89%	14,599	299	3,178	3.62%	70
7年度	**6,271**	**2.18%**	**9,037**	**6.35%**	**15,308**	**709**	**3,265**	**3.75%**	**87**

(2)特別支援学校

年度	小学部		中学部		高等部		合計(人)
	不登校児童数(人)	不登校率(%)	不登校生徒数(人)	不登校率(%)	不登校生徒数(人)	不登校率(%)	
7年度	**19**	**0.69%**	**12**	**0.77%**	**211**	**6.44%**	**242**

5 高等学校及び特別支援学校高等部の長期欠席状況等

(1)高等学校

年度	生徒数(人)	長期欠席者			増減	長欠率(%)
		不登校(人)	病気・経済的・その他(人)	合計(人)		
27年度	103,808	2,604	845	3,449	△ 227	3.32%
28年度	104,045	2,658	921	3,579	130	3.44%
29年度	103,490	2,616	633	3,249	△ 330	3.14%
30年度	102,396	2,655	645	3,300	51	3.22%
元年度	100,255	2,381	535	2,916	△ 384	2.91%
2年度	98,259	1,593	765	2,358	△ 558	2.40%
3年度	94,221	2,270	959	3,229	871	3.43%
4年度	91,231	2,816	1,358	4,174	945	4.58%
5年度	88,376	3,108	1,056	4,164	△ 10	4.71%
6年度	87,767	3,178	1,011	4,189	25	4.77%
7年度	**87,033**	**3,265**	**1,004**	**4,269**	**80**	**4.91%**

(2)特別支援学校高等部

年度	生徒数(人)	長期欠席者			長欠率(%)
		不登校(人)	病気・経済的・その他(人)	合計(人)	
7年度	**3,277**	**211**	**235**	**446**	**13.61%**

6 高等学校及び特別支援学校高等部の中途退学者

(1)高等学校

年度	中退率(%)	全日制(人)	定時制(人)	通信制(人)	合計(人)	増減
27年度	1.24%	875	391	38	1,304	△ 173
28年度	1.27%	1,008	282	42	1,332	28
29年度	1.29%	1,008	327	11	1,346	14
30年度	1.31%	1,054	262	37	1,353	7
元年度	0.96%	778	179	15	972	△ 381
2年度	0.94%	729	159	45	933	△ 39
3年度	0.96%	721	151	37	909	△ 24
4年度	0.93%	665	176	18	859	△ 50
5年度	1.12%	764	188	47	999	140
6年度	1.07%	742	166	43	951	△ 48
7年度	**1.11%**	**746**	**184**	**51**	**981**	**30**

(2)特別支援学校高等部

年度	中退率(%)	普通科(人)	専門学科(人)	合計(人)
7年度	**1.00%**	**23**	**6**	**29**

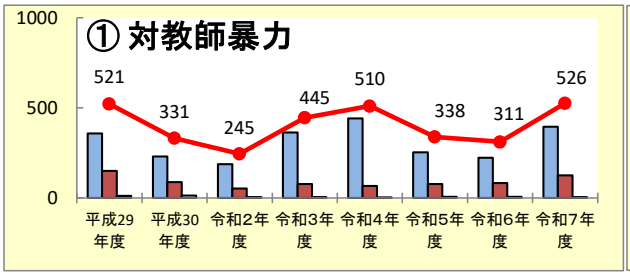
7 自殺

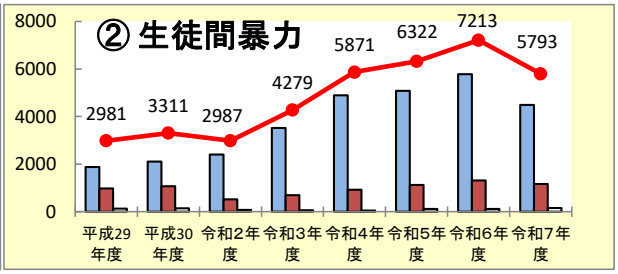
年度	小学校(人)	中学校(人)	高等学校(人)	合計(人)
27年度	0	4	4	8
28年度	0	2	6	8
29年度	1	6	6	13
30年度	0	8	14	22
元年度	1	3	9	13
2年度	1	7	11	19
3年度	0	6	10	16
4年度	3	6	14	23
5年度	1	5	13	19
6年度	0	3	10	13
7年度	**0**	**9**	**11**	**20**

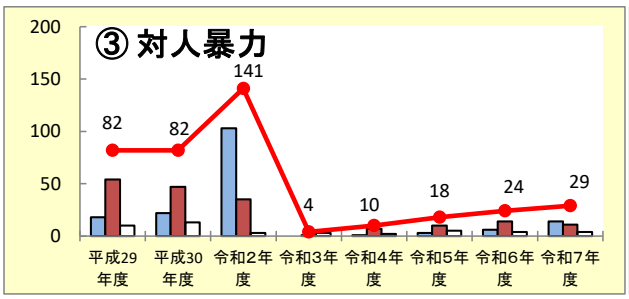
令和7年度　公立小・中・高等学校の暴力行為の発生件数(千葉県)

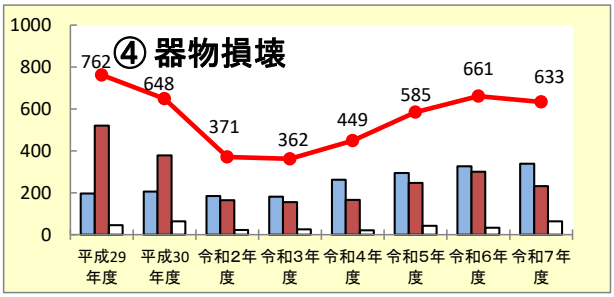
（単位：延べ件数）

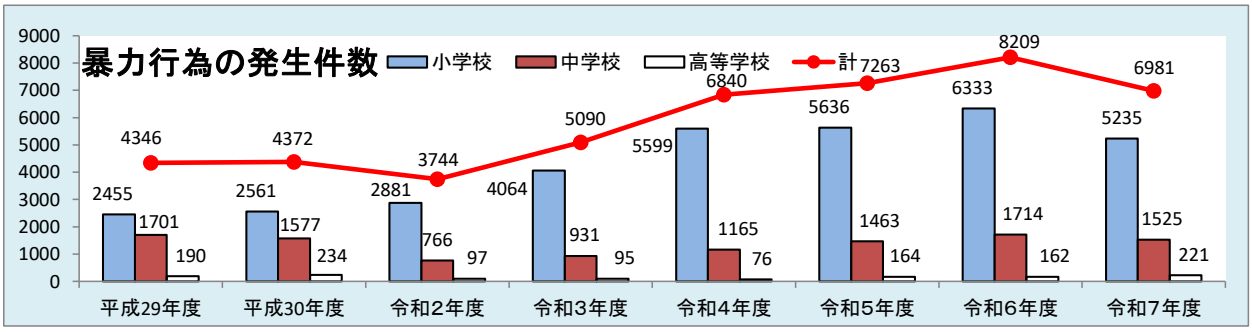
年　度	学校種別	① 対教師暴力		② 生徒間暴力		③ 対人暴力		④ 器物損壊	小計	計
		校内	校外	校内	校外	校内	校外	校内		
平成29年度	小　学　校	358	0	1,801	81	16	2	197	2,455	4,346
	中　学　校	151	0	936	40	27	27	520	1,701	
	高等学校	12	0	111	12	2	8	45	190	
平成30年度	小　学　校	230	0	2,030	73	17	5	206	2,561	4,372
	中　学　校	88	0	1,017	47	19	28	378	1,577	
	高等学校	13	0	136	8	9	4	64	234	
令和元年度	小　学　校	407	0	2,678	89	17	9	178	3,378	5,123
	中　学　校	101	0	965	28	38	19	375	1,526	
	高等学校	9	0	132	14	0	8	56	219	
令和2年度	小　学　校	187		2406		103		185	2,881	3,744
	中　学　校	53		514		35		164	766	
	高等学校	5		67		3		22	97	
令和3年度	小　学　校	363		3,520		0		181	4,064	5,090
	中　学　校	78		696		1		156	931	
	高等学校	4		63		3		25	95	
令和4年度	小　学　校	441		4,895		1		262	5,599	6,840
	中　学　校	66		926		7		166	1,165	
	高等学校	3		50		2		21	76	
令和5年度	小　学　校	253		5,085		3		295	5,636	7,263
	中　学　校	78		1,128		10		247	1,463	
	高等学校	7		109		5		43	164	
令和6年度	小　学　校	223		5,777		6		327	6,333	8,209
	中　学　校	82		1,317		14		301	1,714	
	高等学校	6		119		4		33	162	
令和7年度	**小　学　校**	**396**		**4,487**		**14**		**338**	**5,235**	**6,981**
	中　学　校	**125**		**1,158**		**11**		**231**	**1,525**	
	高等学校	**5**		**148**		**4**		**64**	**221**	











※ 暴力行為の定義（平成19年度一部改訂）

「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力（目に見える物理的な力）を加える行為」をいい、被暴力行為の対象によって、「対教師暴力」（教師に限らず、用務員等の学校職員も含む）、「生徒間暴力」（何らかの人間関係がある児童生徒同士に限る）、「対人暴力」（対教師暴力、生徒間暴力の対象者を除く）、学校の施設・設備等の「器物損壊」の四形態に分ける。ただし、家族・同居人に対する暴力行為は、調査対象外とする。

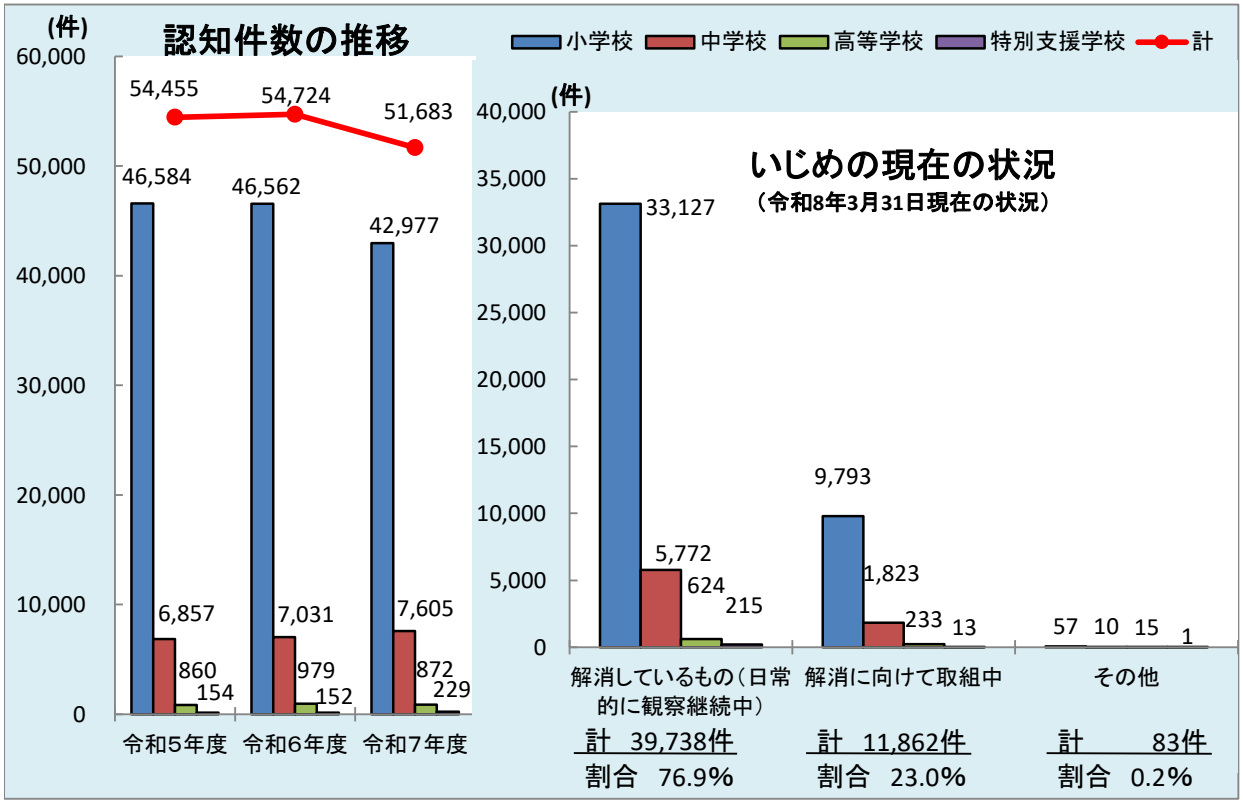
※令和2年度より、学校の管理下、管理下以外のいずれで発生したかに関わらず、発生件数を計上している。

令和7年度　公立小・中・高・特支のいじめの状況等(千葉県)

1　いじめの認知状況等

	区　分	公立学校総数	うち認知校数及び割合(%)		認知件数	増減【%】	一校平均件数
小学校	令和5年度	748	738	98.7%	46,584	1,268【2.8%】	62.3
	令和6年度	750	741	98.8%	46,562	△22【△0.1%】	62.1
	令和7年度	**748**	**737**	**98.5%**	**42,977**	**△3585【△7.7%】**	**57.5**
中学校	令和5年度	367	356	97.0%	6,857	368【5.7%】	18.7
	令和6年度	365	355	97.3%	7,031	174【2.5%】	19.3
	令和7年度	**365**	**356**	**97.5%**	**7,605**	**574【8.2%】**	**20.8**
高等学校	令和5年度	143	123	86.0%	860	128【17.5%】	6.0
	令和6年度	143	122	85.3%	979	119【13.8%】	6.8
	令和7年度	**143**	**125**	**87.4%**	**872**	**△107【△10.9%】**	**6.1**
特別支援学校	令和5年度	44	21	47.7%	154	△29【△15.8%】	3.5
	令和6年度	44	26	59.1%	152	△2【△1.3%】	3.5
	令和7年度	**44**	**26**	**59.1%**	**229**	**77【50.7%】**	**5.2**
計	令和5年度	1,302	1,238	95.1%	54,455	1,735【3.3%】	41.8
	令和6年度	1,302	1,244	95.5%	54,724	269【0.5%】	42.0
	令和7年度	**1,300**	**1,244**	**95.7%**	**51,683**	**△3041【△5.6%】**	**39.8**

※高等学校の「公立学校総数」は、県立、市立の全日制125校、定時制16校、通信制1校、中等教育学校1校の合計である。

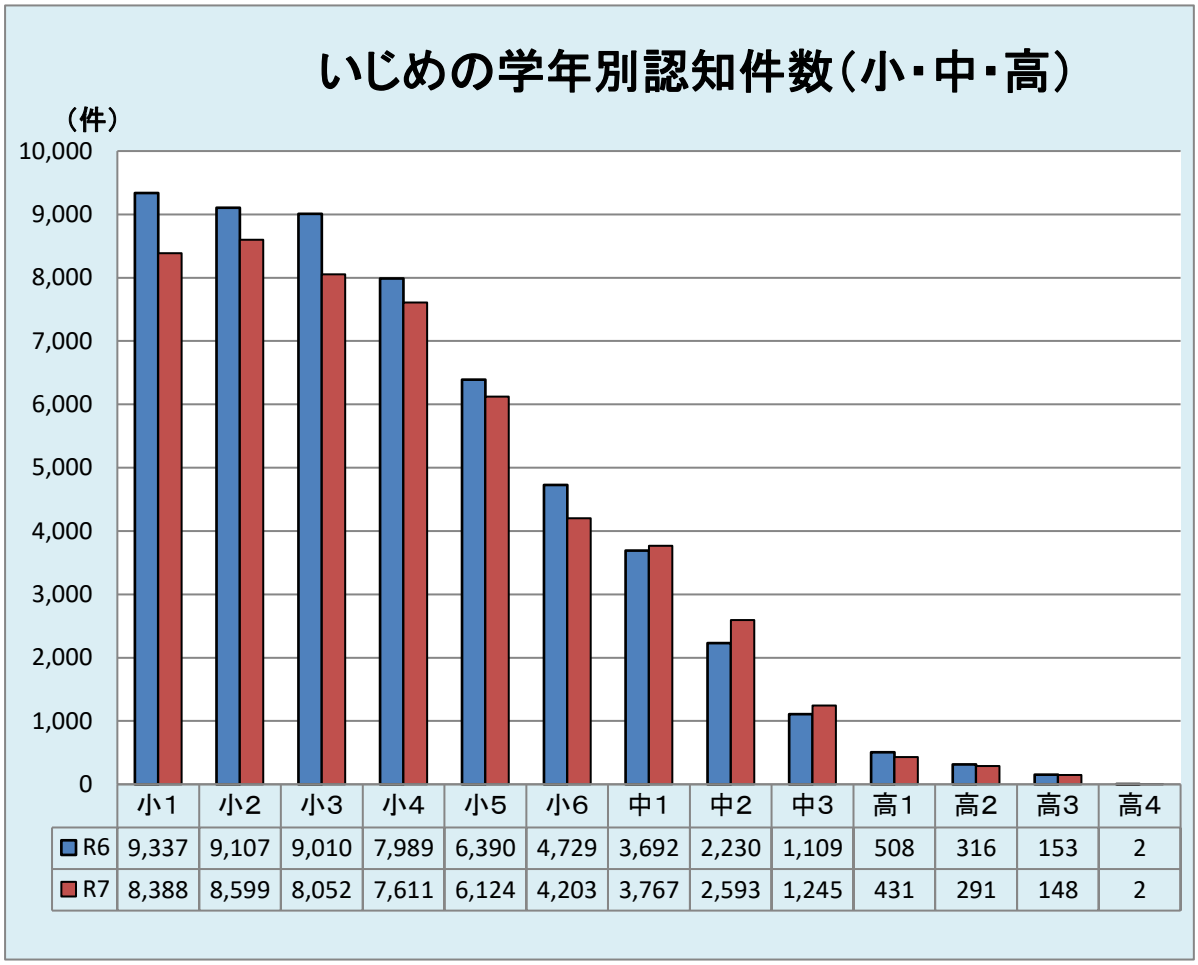


※いじめの定義(平成25年度一部改訂)
　本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとする。
　「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

２ いじめの認知件数の学年別内訳

（単位：件）

区分		１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生	計
小学校		8,388	8,599	8,052	7,611	6,124	4,203	42,977
中学校		3,767	2,593	1,245				7,605
高等学校		431	291	148	2			872
特別支援学校	小学部	1	6	12	11	11	8	49
	中学部	15	20	18				53
	高等部	56	33	38				127
特別支援学校計		72	59	68	11	11	8	229

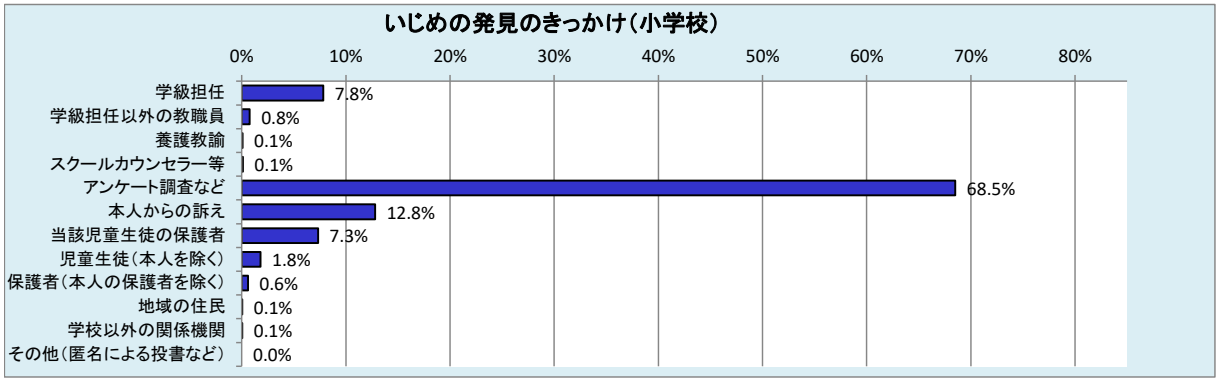


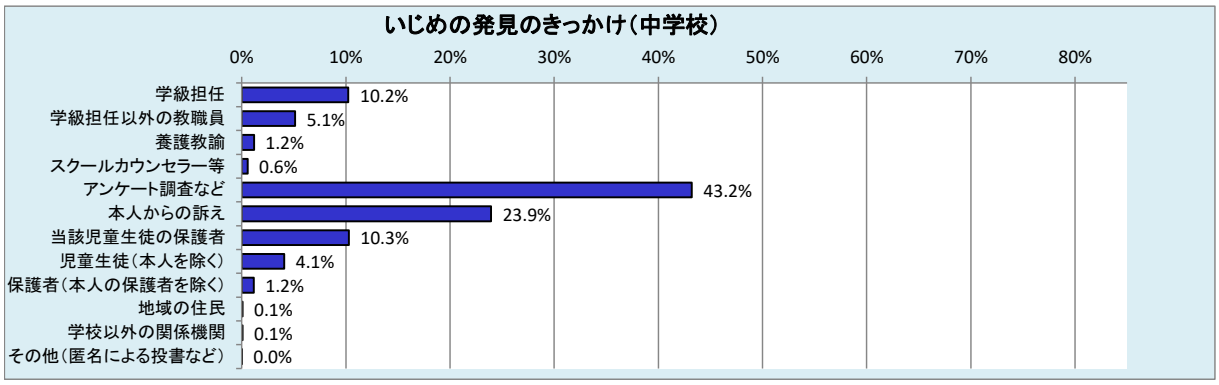
（注）調査では、単位制の高等学校の１年次生は「高１」、２年次生は「高２」、３年次生は「高３」、
４年次生以上は「高４」としてそれぞれ計上している。

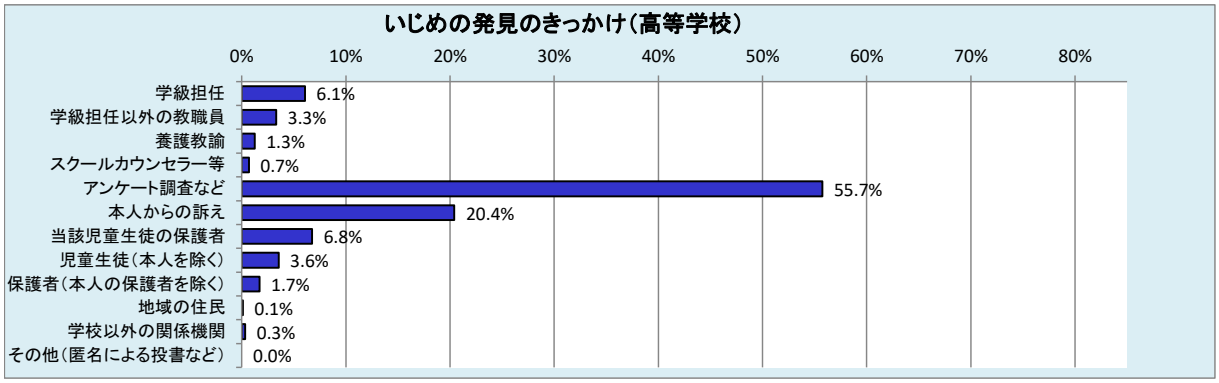
３ いじめの発見のきっかけ

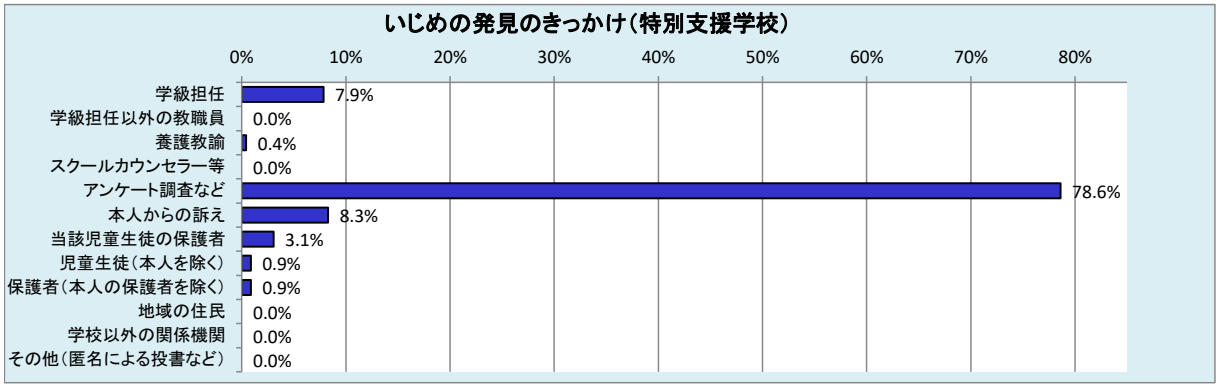
（単位：件）

区　　分		小　学　校	中　学　校	高等学校	特別支援学校	計
学校の教職員等が発見		33,234	4,588	585	199	38,606
内訳	学級担任	3,369	779	53	18	4,219
	学級担任以外の教職員	333	390	29	0	752
	養護教諭	40	90	11	1	142
	スクールカウンセラー等	56	43	6	0	105
	アンケート調査など	29,436	3,286	486	180	33,388
学校の教職員以外からの情報により発見		9,743	3,017	287	30	13,077
内訳	本人からの訴え	5,499	1,820	178	19	7,516
	当該児童生徒の保護者	3,149	782	59	7	3,997
	児童生徒（本人を除く）	783	310	31	2	1,126
	保護者（本人の保護者を除く）	256	89	15	2	362
	地域の住民	30	7	1	0	38
	学校以外の関係機関	26	7	3	0	36
	その他（匿名による投書など）	0	2	0	0	2
計		42,977	7,605	872	229	51,683









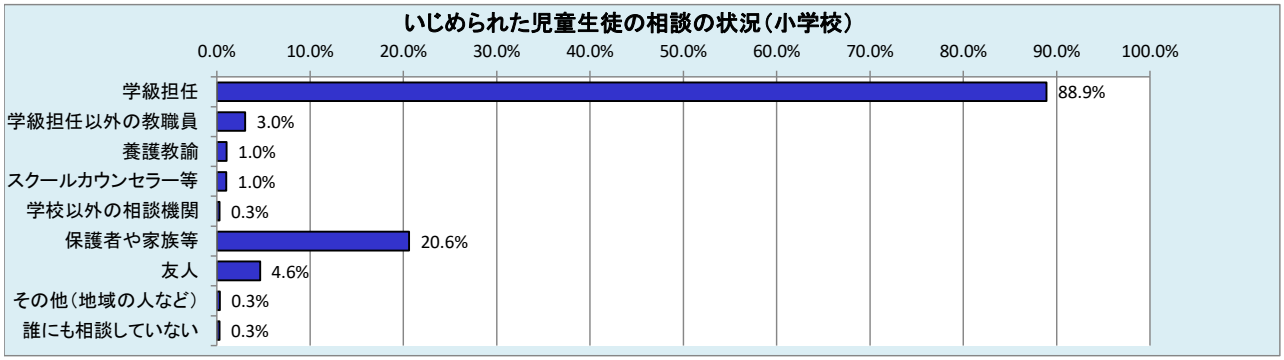
※上記の割合（%）は、各学校種のいじめ認知件数に対する割合を示している。
（認知件数：小学校42，977件、中学校7，605件、高等学校872件、特別支援学校229件）

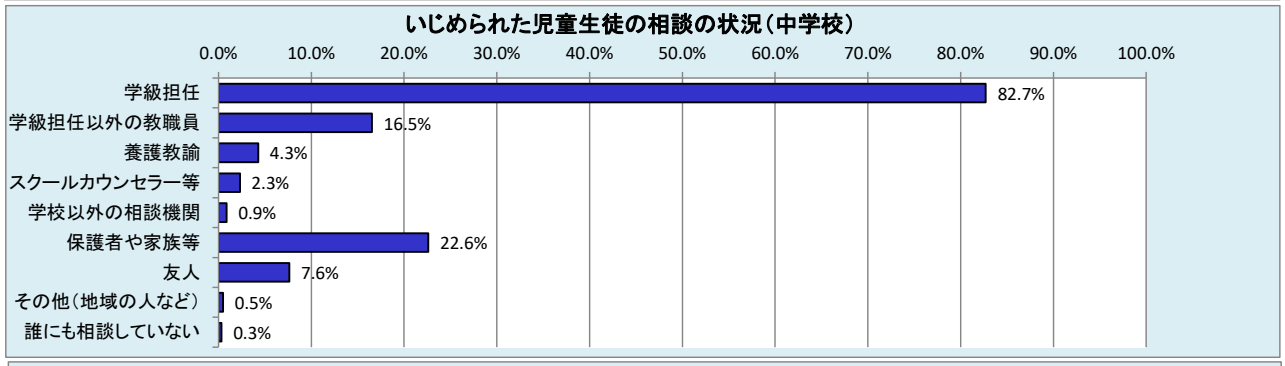
４ いじめられた児童生徒の相談の状況

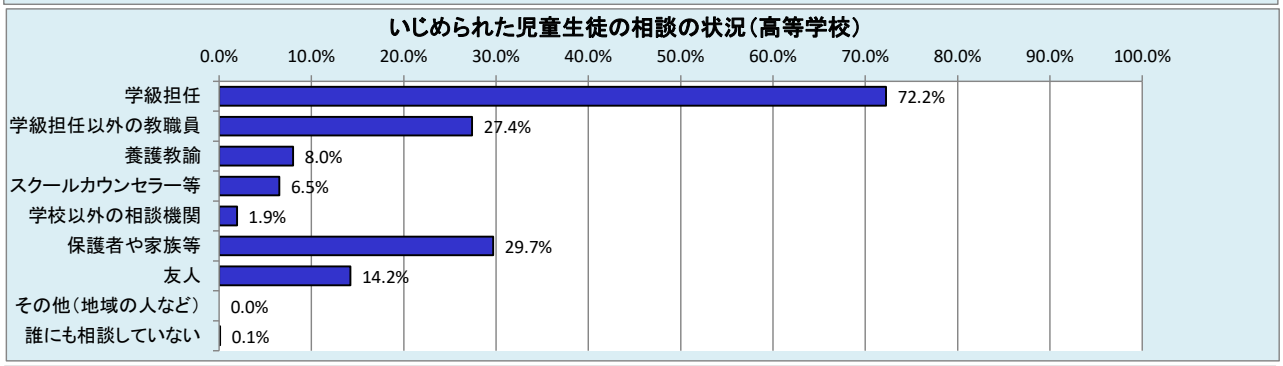
（単位：件）

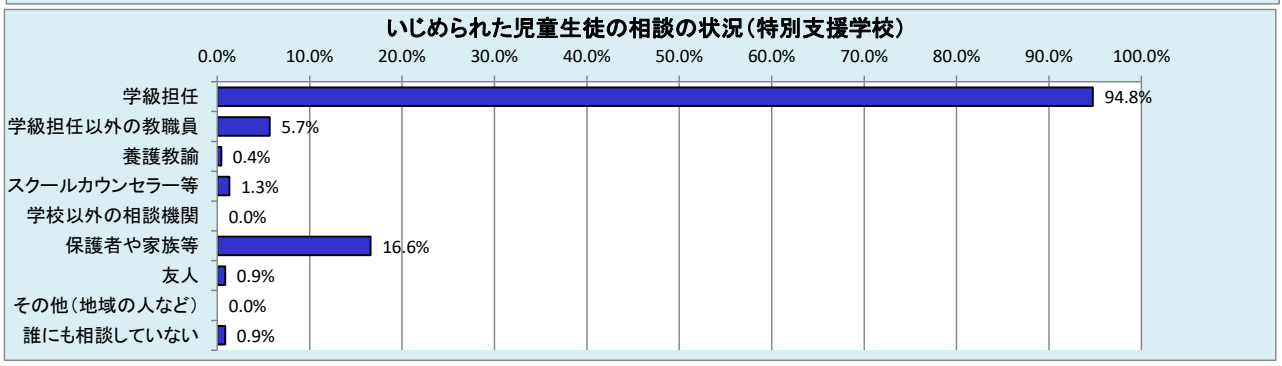
区　　分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任	38,212	6,290	630	217	45,349
学級担任以外の教職員	1,308	1,258	239	13	2,818
養護教諭	445	325	70	1	841
スクールカウンセラー等	441	175	57	3	676
学校以外の相談機関	123	67	17	0	207
保護者や家族等	8,853	1,719	259	38	10,869
友人	1,991	580	124	2	2,697
その他（地域の人など）	144	37	0	0	181
誰にも相談していない	126	25	1	2	154
計	51,643	10,476	1,397	276	63,792

（注）複数選択を可としている。









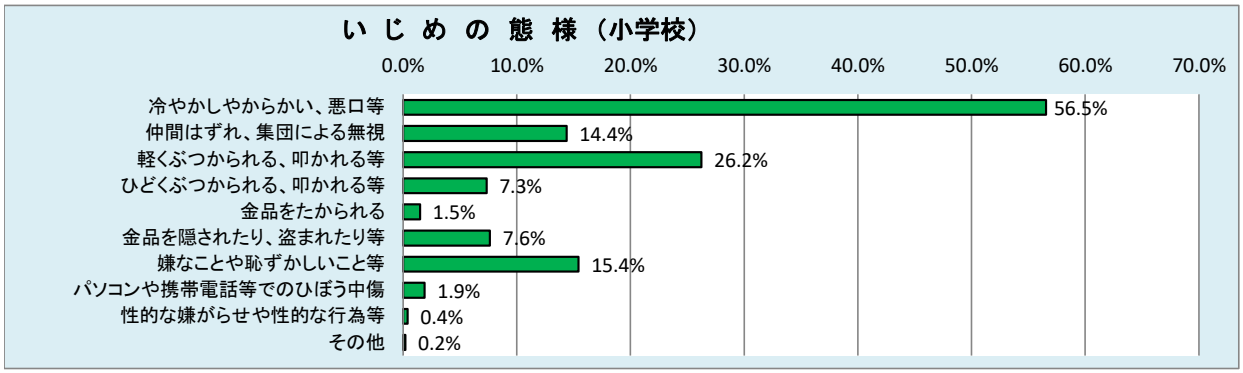
※上記の割合（%）は、各学校種のいじめ認知件数に対する割合を示している。
（認知件数：小学校42，977件、中学校7，605件、高等学校872件、特別支援学校229件）

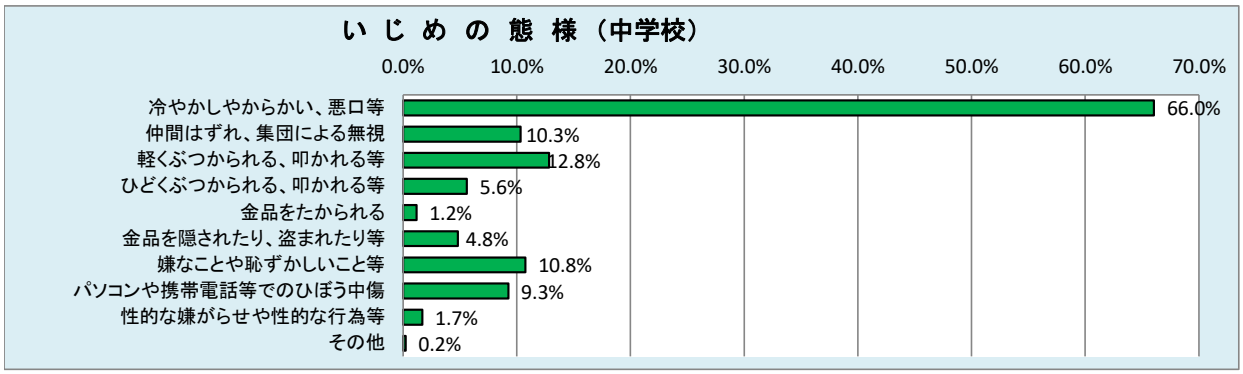
５ いじめの態様

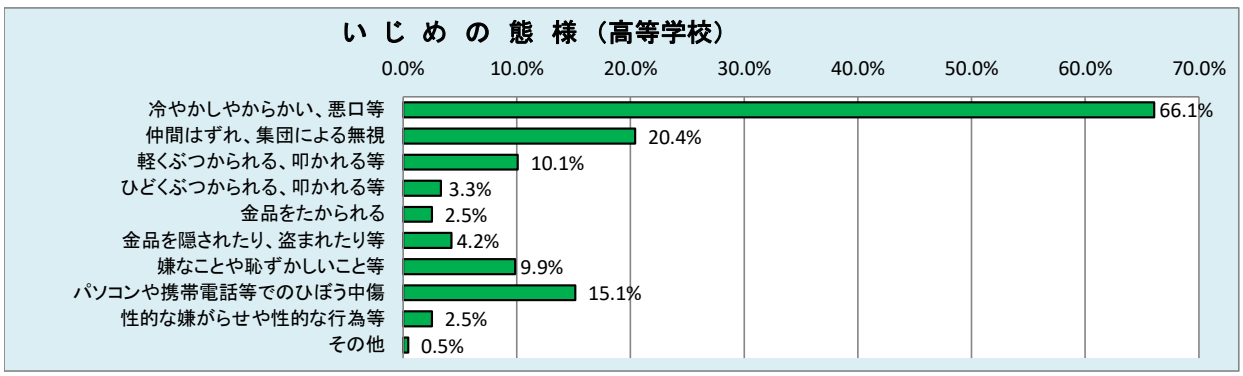
（単位：件）

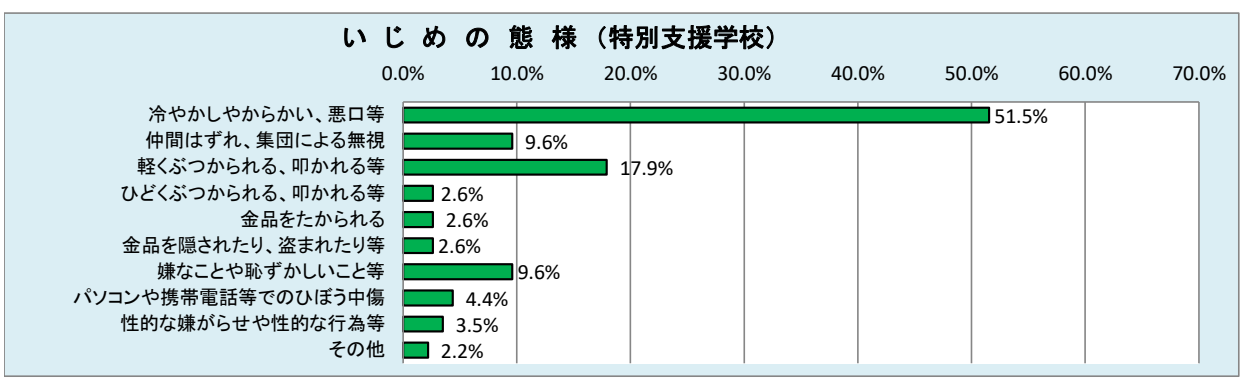
区　　分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしやからかい、悪口等	24,303	5,023	576	118	30,020
仲間はずれ、集団による無視	6,177	786	178	22	7,163
軽くぶつかられる、叩かれる等	11,271	976	88	41	12,376
ひどくぶつかられる、叩かれる等	3,152	427	29	6	3,614
金品をたかられる	637	89	22	6	754
金品を隠されたり、盗まれたりする等	3,279	367	37	6	3,689
嫌なことや恥ずかしいことをされる等	6,625	818	86	22	7,551
パソコンや携帯電話等でのひぼう中傷	810	704	132	10	1,656
性的な嫌がらせや性的な行為等	167	128	22	8	325
その他	81	17	4	5	107
計	56,502	9,335	1,174	244	67,255

（注）複数選択を可としている。









※上記の割合（%）は、各学校種のいじめ認知件数に対する割合を示している。

（認知件数：小学校42、977件、中学校7、605件、高等学校872件、特別支援学校229件）

令和7年度　公立小・中学校及び特別支援学校小・中学部の長期欠席の状況等（千葉県）

１－（１）長期欠席者数（在籍者数は、５月１日現在の学校基本調査による）

		在籍者数（5/1現在）	長期欠席者総数	長期欠席率（%）
小学校		288,152	12,721	4.41%
中学校		142,226	12,724	8.95%
特別支援学校	小学部	2,754	422	15.32%
	中学部	1,557	226	14.52%
合　計		434,689	26,093	6.00%

（注）長期欠席者とは、一つの年度間に連続又は断続して30日以上欠席した者である。

１－（２） 理由別長期欠席者数

ア 公立小・中学校

長期欠席の理由	小学校			中学校			合　計		
	総数	出現率（%）	割合（%）	総数	出現率（%）	割合（%）	総数	出現率（%）	割合（%）
病　気	4,231	1.47%	33.26%	3,057	2.15%	24.03%	7,288	1.69%	28.64%
経済的理由	0	0.00%	0.00%	0	0.00%	0.00%	0	0.00%	0.00%
不登校	6,271	2.18%	49.30%	9,037	6.35%	71.02%	15,308	3.56%	60.16%
その他	2,219	0.77%	17.44%	630	0.44%	4.95%	2,849	0.66%	11.20%
合　計	12,721	4.41%	100%	12,724	8.95%	100%	25,445	5.91%	100%

イ 特別支援学校

長期欠席の理由	小学部			中学部			合　計		
	総数	出現率（%）	割合（%）	総数	出現率（%）	割合（%）	総数	出現率（%）	割合（%）
病　気	252	9.15%	59.72%	131	8.41%	57.96%	383	8.88%	59.10%
経済的理由	2	0.07%	0.47%	1	0.06%	0.44%	3	0.07%	0.46%
不登校	19	0.69%	4.50%	12	0.77%	5.31%	31	0.72%	4.78%
その他	149	5.41%	35.31%	82	5.27%	36.28%	231	5.36%	35.65%
合　計	422	15.32%	100%	226	14.52%	100%	648	15.03%	100%

（注1）出現率（%）は、１－（1）長期欠席者数の在籍者数（5/1現在）に対する割合を示している。
（注2）割合（%）は、理由別長期欠席者数の合計に対する割合を示している。
（注3）欠席理由が2つ以上あるときは、主な理由を1つ選び記入する。
（注4）資料中の割合の欄は四捨五入で処理した数値のため、合計と合わない場合がある。

２ 不登校児童生徒における前年度の不登校の有無

		有	無	合　計
小 学 校		3,048	3,223	6,271
中 学 校		5,262	3,775	9,037
特別支援学校	小学部	4	15	19
	中学部	7	5	12
合　計		8,321	7,018	15,339

（注）小学校1年及び特別支援学校小学部1年については、入学前の調査はしていない。

3 公立小・中学校及び特別支援学校小・中学部における不登校児童生徒数の変遷

（1）小・中学校

区分	年度	学校数	全児童生徒数（人）	不登校児童生徒数（人）	前年度との不登校数の差（人）	全児童生徒に対する割合（%）	前年度との割合の差
小学校	平成20年度	850	334,308	811	−8	0.24%	−0.01
	平成21年度	845	333,929	852	41	0.26%	0.02
	平成22年度	847	333,188	871	19	0.26%	0.00
	平成23年度	838	331,232	898	27	0.27%	0.01
	平成24年度	837	325,557	856	−42	0.26%	−0.01
	平成25年度	828	322,121	1,086	230	0.34%	0.08
	平成26年度	820	319,190	1,158	72	0.36%	0.02
	平成27年度	810	316,855	1,233	75	0.39%	0.03
	平成28年度	806	314,710	1,456	223	0.46%	0.07
	平成29年度	796	312,913	1,606	150	0.51%	0.05
	平成30年度	794	312,314	2,016	410	0.65%	0.14
	令和元年度	781	309,308	2,352	336	0.76%	0.11
	令和2年度	767	305,950	2,691	339	0.88%	0.12
	令和3年度	755	302,822	3,583	892	1.18%	0.30
	令和4年度	751	300,372	4,600	1,017	1.53%	0.35
	令和5年度	748	296,778	5,713	1,113	1.93%	0.40
	令和6年度	750	292,714	6,121	408	2.09%	0.16
	令和7年度	748	288,152	6,271	150	2.18%	0.09
中学校	平成20年度	385	151,289	4,340	−23	2.87%	−0.02
	平成21年度	383	153,337	4,247	−93	2.77%	−0.10
	平成22年度	383	152,764	4,182	−65	2.74%	−0.03
	平成23年度	382	154,643	3,879	−303	2.51%	−0.23
	平成24年度	383	154,563	3,734	−145	2.42%	−0.09
	平成25年度	382	155,022	3,884	150	2.51%	0.09
	平成26年度	382	154,662	3,963	79	2.56%	0.05
	平成27年度	381	154,585	4,160	197	2.69%	0.13
	平成28年度	381	153,293	4,191	31	2.73%	0.04
	平成29年度	379	151,710	4,637	446	3.06%	0.33
	平成30年度	379	148,104	5,100	463	3.44%	0.38
	令和元年度	377	147,039	5,149	49	3.50%	0.06
	令和2年度	371	146,530	5,159	10	3.52%	0.02
	令和3年度	367	147,964	6,368	1,209	4.30%	0.78
	令和4年度	368	147,120	7,482	1,114	5.09%	0.82
	令和5年度	367	145,995	8,587	1,105	5.88%	0.79
	令和6年度	365	143,876	8,478	−109	5.89%	0.01
	令和7年度	365	142,226	9,037	559	6.35%	0.46
合計	平成20年度	1235	485,597	5,151	−31	1.06%	−0.01
	平成21年度	1228	487,266	5,099	−52	1.05%	−0.01
	平成22年度	1230	485,952	5,053	−46	1.04%	−0.01
	平成23年度	1220	485,875	4,777	−276	0.98%	−0.06
	平成24年度	1220	480,120	4,590	−187	0.96%	−0.02
	平成25年度	1210	477,143	4,970	380	1.04%	0.08
	平成26年度	1202	473,852	5,121	151	1.08%	0.04
	平成27年度	1191	471,440	5,393	272	1.14%	0.06
	平成28年度	1187	468,003	5,647	254	1.21%	0.07
	平成29年度	1175	464,623	6,243	596	1.34%	0.13
	平成30年度	1173	460,418	7,116	873	1.55%	0.21
	令和元年度	1158	456,347	7,501	385	1.64%	0.09
	令和2年度	1138	452,480	7,850	349	1.73%	0.09
	令和3年度	1122	450,786	9,951	2,101	2.21%	0.48
	令和4年度	1119	447,492	12,082	2,131	2.70%	0.49
	令和5年度	1115	442,773	14,300	2,218	3.23%	0.53
	令和6年度	1115	436,590	14,599	299	3.34%	0.11
	令和7年度	1113	430,378	15,308	709	3.56%	0.22

（2）特別支援学校

区分	年度	学校数	全児童生徒数（人）	不登校児童生徒数（人）	全児童生徒に対する割合（%）
小学部	令和7年度	35	2,754	19	0.69%
中学部	令和7年度	34	1,557	12	0.77%
合計	令和7年度	38	4,311	31	0.72%

（注）学校数の合計は、小学部及び中学部を併設する学校の重複を除いて計上している。

4　学年別不登校児童生徒数

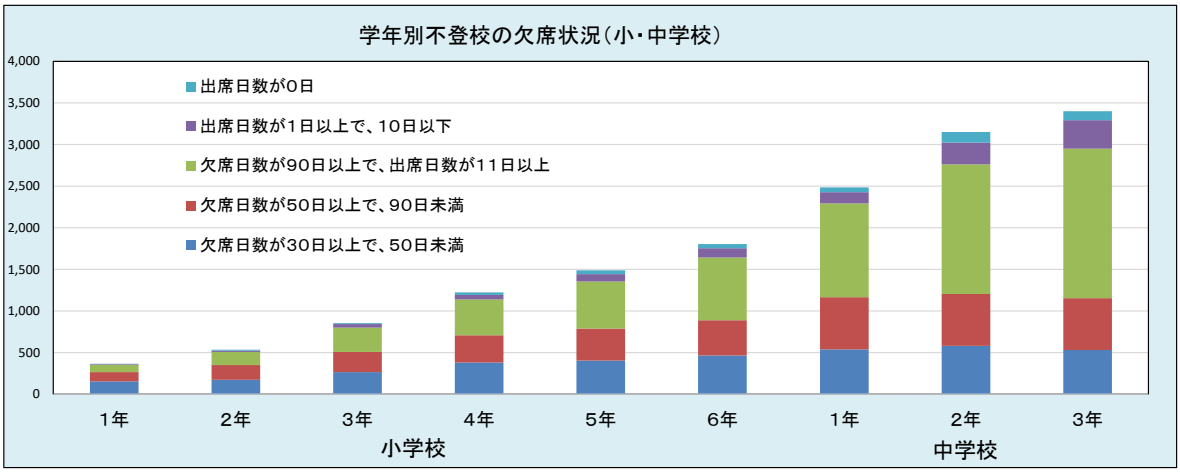
（1）小学校

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合（%）
不登校児童数	364	535(227)	856(395)	1,222(591)	1,489(797)	1,805(1,038)	6,271(3,048)	
うち、50日以上欠席	211	360	589	842	1,084	1,340	4,426	70.6%
うち、90日以上欠席	97	186	347	514	699	917	2,760	44.0%
うち、出席日数が10日以下	9	28	56	83	134	161	471	7.5%
うち、出席日数が0日	2	12	13	29	47	50	153	2.4%

（2）中学校

区分	1年	2年	3年	合計	割合（%）
不登校生徒数	2,487(773)	3,150(2,000)	3,400(2,489)	9,037(5,262)	
うち、50日以上欠席	1,948	2,567	2,867	7,382	81.7%
うち、90日以上欠席	1,323	1,946	2,245	5,514	
うち、出席日数が10日以下	195	389	449	1,033	11.4%
うち、出席日数が0日	60	127	106	293	3.2%

※（ ）内は前回調査でも不登校として計上されていた児童生徒の人数。（中学校1年については、前回調査における小学校6年時のもの。）



（3）特別支援学校小学部

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合（%）
不登校児童数	1	3(0)	3(0)	4(0)	4(1)	4(3)	19(4)	
うち、50日以上欠席	1	2	2	3	3	4	15	78.9%
うち、90日以上欠席	1	0	1	1	3	3	9	47.4%
うち、出席日数が10日以下	0	0	0	1	1	0	2	10.5%
うち、出席日数が0日	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

（4）特別支援学校中学部

区分	1年	2年	3年	合計	割合（%）
不登校生徒数	4(2)	4(2)	4(3)	12(7)	
うち、50日以上欠席	3	4	4	11	91.7%
うち、90日以上欠席	2	3	3	8	66.7%
うち、出席日数が10日以下	1	2	2	5	41.7%
うち、出席日数が0日	0	0	1	1	8.3%

※（ ）内は前回調査でも不登校として計上されていた児童生徒の人数。（中学部1年については、前回調査における小学部6年時のもの。）

（注）割合（%）は、小・中・学校及び特別支援学校小・中学部における不登校児童生徒数に対する割合を示している。

5　不登校児童生徒の在籍学校数

区　　分		学校総数（校）	不登校在籍学校数（校）
小学校		748	690
中学校		365	360
特別支援学校	小学部	35	8
	中学部	34	7
合　　計		1,182	1,065

6　不登校児童生徒への指導結果状況

区　　分		小学校	中学校	特別支援学校		計
				小学部	中学部	
指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	人数	1,561	2,315	9	2	3,887
	割合（%）	24.9%	25.6%	47.4%	16.7%	25.3%
指導中の児童生徒	人数	4,710	6,722	10	10	11,452
	割合（%）	75.1%	74.4%	52.6%	83.3%	74.7%
合　　計		6,271	9,037	19	12	

（注）割合（%）は、小・中・学校及び特別支援学校小・中学部における不登校児童生徒数に対する割合を示している。

7　不登校児童生徒について把握した事実

（1）小学校・中学校

区分 / 学校種		不登校児童生徒数	1 いじめの被害	2 いじめ被害を除く友人関係	3 教職員との関係	4 学業の不振	5 学校のきまり等	6 転編入学、進級時の不適応	7 家庭生活の変化	8 親子の関わり方	9 生活リズムの不調	10 あそび、非行	11 学校生活	12 不安・抑うつ	13 障害（疑いを含む）	14 個別の配慮（13以外）	15 左記に該当なし
小学校	不登校児童生徒について把握した事実（複数回答可）	6,271	55	717	214	805	90	190	488	632	1,240	85	1,908	1,569	420	355	391
			0.9%	11.4%	3.4%	12.8%	1.4%	3.0%	7.8%	10.1%	19.8%	1.4%	30.4%	25.0%	6.7%	5.7%	6.2%
中学校	不登校児童生徒について把握した事実（複数回答可）	9,037	53	1,233	177	1,330	167	438	586	641	2,083	245	2,989	2,151	413	356	380
			0.6%	13.6%	2.0%	14.7%	1.8%	4.8%	6.5%	7.1%	23.0%	2.7%	33.1%	23.8%	4.6%	3.9%	4.2%
合　計		15,308	108	1,950	391	2,135	257	628	1,074	1,273	3,323	330	4,897	3,720	833	711	771
			0.7%	12.7%	2.6%	13.9%	1.7%	4.1%	7.0%	8.3%	21.7%	2.2%	32.0%	24.3%	5.4%	4.6%	5.0%

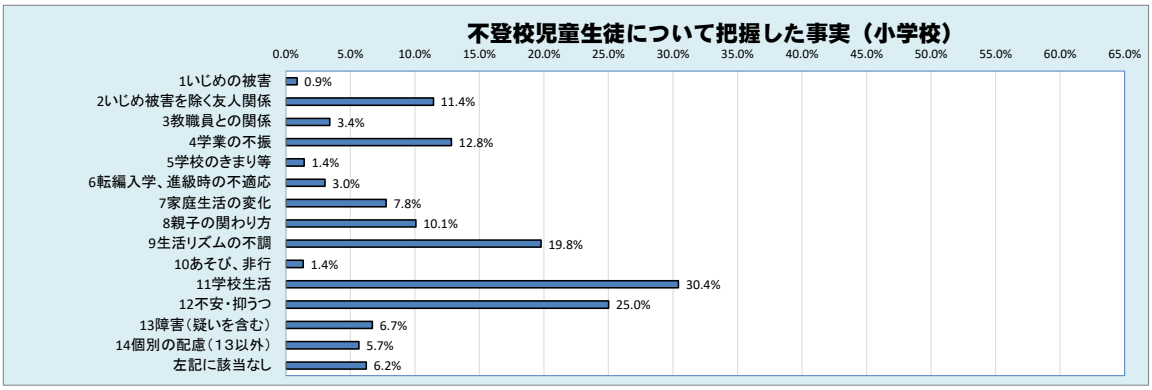
（注1）「長期欠席者の状況」における「不登校」と回答した不登校児童生徒全員につき回答したもの。

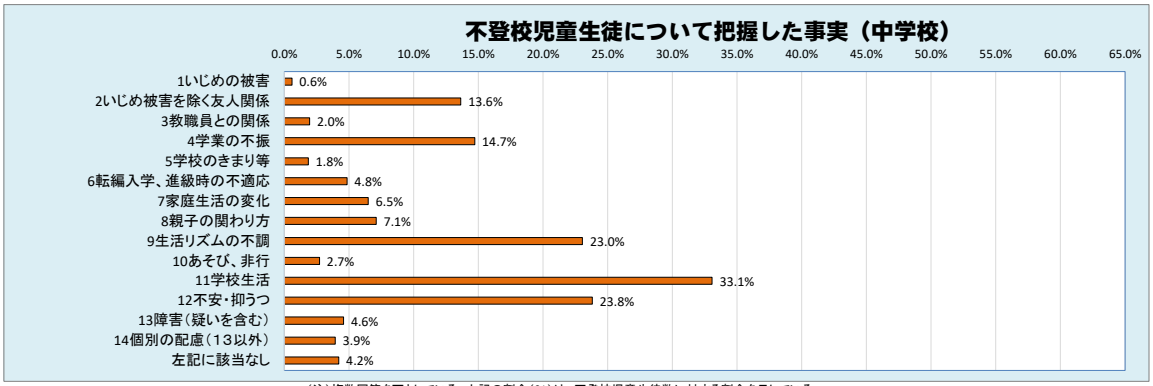
（注2）「相談」は、本人や保護者からの相談であるもの。

（注3）「不登校児童生徒について把握した事実」については、該当する児童生徒について当てはまる項目を全て回答したもの。
調査票の「区分」については、具体的に次のようなものが考えられる。

＜区分＞

1　いじめの被害の情報や相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・本調査に定義するいじめ被害の事実を把握した情報や当該児童生徒や保護者からのいじめ被害に関する相談
2　いじめ被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談・・・・・・・仲違い、友人が極端に少ない、友人間の問題に関する情報や相談
3　教職員との関係をめぐる問題の情報や相談・・・・・・・・・・・・・教職員への反抗や反発、教職員から厳しい叱責や注意に関する情報や相談
4　学業の不振や頻繁な宿題の未提出・・・・・・・・・・・・・・・・・成績の不振、授業が分からない、試験が嫌い、宿題の過半数が未提出
5　学校のきまり等に関する相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・制服を着たくない、給食を食べたくない、学校行事に参加したくないことに関する相談
6　入学、転編入学、進級時の不適応による相談・・・・・・・・・・・転編入学したくなかった、クラス替えが自分の願う学級編成や担任ではなかったことに関する相談
7　家庭生活の変化に関する情報や相談・・・・・・・・・・・・・・・両親の離婚、親の単身赴任、家族の病気に関する情報や相談
8　親子の関わり方に関する問題の情報や相談・・・・・・・・・・・・親の叱責、親の言葉・態度への反発、親の過干渉・放任に関する情報や相談
9　生活リズムの不調に関する相談・・・・・・・・・・・・・・・・・朝起きられない、夜眠れない、就寝起床時間が定まらないことに関する相談
10　あそび、非行に関する情報や相談・・・・・・・・・・・・・・・・非行グループに入り非行行為を行うことに関する情報や相談
11　学校生活に対してやる気が出ない等の相談・・・・・・・・・・・・無気力で登校したくないことに関する相談
12　不安・抑うつの相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・登校の意志はあるが、漠然とした不安や気持ちの落ち込みにより登校しない（できない。）ことに関する相談
13　障害（疑いを含む）に起因する特別な教育的支援の求めや相談・・・特別支援学級への在籍、通級指導の利用、特別支援教育支援員の配置、その他の合理的配慮に関する求めや相談
14　個別の配慮（１３以外）についての求めや相談・・・・・・・・・・日本語指導が必要、特定分野に特異な才能を有する、性に関する違和感、感覚過敏に関する求めや相談
15　左記に該当なし・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・本人や保護者等に確認した上で、上記のような情報や相談について把握していない





（注）複数回答を可としている。上記の割合（%）は、不登校児童生徒数に対する割合を示している。
（不登校児童生徒数：小学校6，271人、中学校9，037人、合計15，308人）

（2）特別支援学校

区分 / 学校種		不登校児童生徒数	1 いじめの被害	2 いじめ被害を除く友人関係	3 教職員との関係	4 学業の不振	5 学校のきまり等	6 転編入学、進級時の不適応	7 家庭生活の変化	8 親子の関わり方	9 生活リズムの不調	10 あそび、非行	11 学校生活	12 不安・抑うつ	13 障害（疑いを含む）	14 個別の配慮（13以外）	15 左記に該当なし
小学部	不登校児童生徒について把握した事実（複数回答可）	19	0	0	1	0	0	0	1	0	5	0	4	1		1	10
			0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	26.3%	0.0%	21.1%	5.3%		5.3%	52.6%
中学部	不登校児童生徒について把握した事実（複数回答可）	12	0	0	0	0	0	1	0	0	6	0	6	1		1	2
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	8.3%		8.3%	16.7%
合　計		31	0	0	1	0	0	1	1	0	11	0	10	2		2	12
			0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	3.2%	3.2%	0.0%	35.5%	0.0%	32.3%	6.5%		6.5%	38.7%

8 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分		小学校				中学校				特別支援学校								計			
										小学部				中学部							
		人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	通学定期乗車券制度適用人数	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	通学定期乗車券制度適用人数	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	通学定期乗車券制度適用人数	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	通学定期乗車券制度適用人数	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	通学定期乗車券制度適用人数
学校外	(1)①～⑧の機関等での相談・指導等を受けた実人数	2,150	34.3%	802		2,666	29.5%	1525		2	10.5%	0		5	41.7%	0		4,823	31.4%	2,327	
	① 教育支援センター	566	9.0%	331	5	840	9.3%	716	26	1	5.3%	0	0	0	0.0%	0	0	1,407	9.2%	1,047	31
	② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	701	11.2%	270	1	698	7.7%	403	10	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	1,399	9.1%	673	11
	③ 児童相談所、福祉事務所	229	3.7%	34		271	3.0%	107		2	10.5%	0		2	16.7%	0		504	3.3%	141	
	④ 保健所、精神保健福祉センター	15	0.2%	1		6	0.1%	0		0	0.0%	0		0	0.0%	0		21	0.1%	1	
	⑤ 病院、診療所	557	8.9%	34		614	6.8%	50		0	0.0%	0		3	25.0%	0		1,174	7.7%	84	
	⑥ 民間団体、民間施設(⑦を除く)	349	5.6%	183	5	405	4.5%	309	13	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	754	4.9%	492	18
	⑦ 障害児支援施設	45	0.7%	10		24	0.3%	5		0	0.0%	0		0	0.0%	0		69	0.4%	15	
	⑧ 上記以外の機関等	120	1.9%	22		176	1.9%	79		0	0.0%	0		0	0.0%	0		296	1.9%	101	
	(2)①～⑧の機関等での相談・指導等を受けていない人数	4,121	65.7%			6,371	70.5%			17	89.5%			7	58.3%			10,516	68.6%		
	(3) (1)、(2)の合計	6,271				9,037				19				12				15,339			
学校内	(4)⑨～⑪による相談・指導等を受けた実人数	2,899	46.2%			4,451	49.3%			3	15.8%			2	16.7%			7,355	47.9%		
	⑨ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	804	12.8%			1387	15.3%			0	0.0%			0	0.0%			2,191	14.3%		
	⑩ スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	1,616	25.8%			1,859	20.6%			0	0.0%			1	8.3%			3,476	22.7%		
	⑪ 校内教育支援センター等で教員や支援員等による相談・指導を受けた人数	972	15.5%			2,087	23.1%			3	15.8%			1	8.3%			3,063	20.0%		
	(5)上記⑨～⑪による相談・指導等を受けていない人数	3,372	53.8%			4,586	50.7%			16	84.2%			10	83.3%			7,984	52.1%		
	(6) (4)、(5)の合計	6,271				9,037				19				12				15,339			
	(7)上記①～⑧、⑨～⑪による相談・指導等を受けていない人数	2,281	36.4%			3,284	36.3%			14	73.7%			5	41.7%			5,584	36.4%		
	(8)うち、教職員から継続的な相談・指導等を受けていた人数	2,206	35.2%			3,136	34.7%			10	52.6%			1	8.3%			5,353	34.9%		

(注)複数回答を可としている。上記の割合(%)は、不登校児童生徒数に対する割合を示している。
(不登校児童生徒数:小学校6，271人、中学校9，037人、特別支援学校小学部19人、特別支援学校中学部12人　合計15，339人)

令和7年度　公立高等学校及び特別支援学校高等部の長期欠席の状況等（千葉県）

１－（１）長期欠席者数（在籍者数は、５月１日現在の学校基本調査による）

	在籍者数（5/1現在）	長期欠席者総数	前年度増減	長期欠席率（%）	前年比
全 日 制	84,526	3,313	△ 80	3.92%	△0.06%
定 時 制	2,507	956	160	38.13%	6.48%
特別支援学校高等部	3,277	446		13.61%	
合　計	90,310	4,715		5.22%	

（注）長期欠席者とは、一つの年度間に連続又は断続して30日以上欠席した者である。

１－（２） 理由別長期欠席者数

ア 公立高等学校

長期欠席の理由	全 日 制			定 時 制			全 定 合 計		
	総数	出現率（%）	割合（%）	総数	出現率（%）	割合（%）	総数	出現率（%）	割合（%）
病 気	678	0.80%	20.46%	116	4.63%	12.13%	794	0.91%	18.60%
経済的理由	6	0.01%	0.18%	18	0.72%	1.88%	24	0.03%	0.56%
不登校	2,449	2.90%	73.92%	816	32.55%	85.36%	3,265	3.75%	76.48%
その他	180	0.21%	5.43%	6	0.24%	0.63%	186	0.21%	4.36%
合　計	3,313	3.92%	100%	956	38.13%	100%	4,269	4.91%	100%

イ 特別支援学校

長期欠席の理由	高等部		
	総数	出現率（%）	割合（%）
病 気	160	4.88%	35.87%
経済的理由	0	0.00%	0.00%
不登校	211	6.44%	47.31%
その他	75	2.29%	16.82%
合　計	446	13.61%	100%

（注1）出現率（%）は、１－（１）長期欠席者数の在籍者数（5/1現在）に対する割合を示している。
（注2）割合（%）は、理由別長期欠席者数の合計に対する割合を示している。
（注3）欠席理由が2つ以上あるときは、主な理由を1つ選び記入する。
（注4）資料中の割合の欄は四捨五入で処理した数値のため、合計と合わない場合がある。

２ 不登校生徒における前年度の不登校の有無

	有	無	合　計
全 日 制	573	1,876	2,449
定 時 制	389	427	816
特別支援学校高等部	22	189	211
合　計	984	2,492	3,476

３－（１） 課程別不登校生徒数

	全 日 制		定 時 制		特別支援学校高等部		合 計	
	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)
1学年	611	2.81%			72	6.36%	683	2.99%
2学年	713	3.36%			67	6.35%	780	3.50%
3学年	732	3.48%			72	6.61%	804	3.64%
単位制	393	1.91%	816	32.55%			1,209	5.24%
合 計	2,449	2.90%	816	32.55%	211	6.44%	3,476	3.85%

(注)出現率(%)は、学年制及び単位制における全生徒数に対する割合を示している。

３－（２） 課程別不登校生徒欠席状況

ア 公立高等学校

区 分	全 日 制				定時制（単位制）	合計	割合(%)
	1年	2年	3年	単位制			
不登校生徒数	611	713	732	393	816	3,265	
うち、50日以上欠席	241	225	174	109	434	1,183	36.2%
うち、90日以上欠席	54	39	19	23	125	260	8.0%
うち、出席日数が10日以下	8	3	3	3	27	44	1.3%
うち、出席日数が0日	4	0	0	1	16	21	0.6%

イ 特別支援学校高等部

区 分	高 等 部			合計	割合(%)
	1年	2年	3年		
不登校生徒数	72	67	72	211	
うち、50日以上欠席	26	23	20	69	32.7%
うち、90日以上欠席	19	15	17	51	24.2%
うち、出席日数が10日以下	4	6	2	12	5.7%
うち、出席日数が0日	0	0	0	0	0.0%

３－（３） 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

	不登校生徒数	中途退学者数	中途退学率(%)	原級留置者数	原級留置率(%)
全 日 制	2,449	299	12.21%	29	1.18%
定 時 制	816	114	13.97%	2	0.25%
特別支援学校高等部	211	4	1.90%	5	2.37%
合 計	3,476	417	12.00%	36	1.04%

３－（４） 不登校生徒への指導結果状況

区 分		全日制	定時制	特別支援学校高等部	合計
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	人数	1,473	459	38	1,970
	割合(%)	60.1%	56.3%	18.0%	56.7%
指導中の生徒	人数	976	357	173	1,506
	割合(%)	39.9%	43.8%	82.0%	43.3%
合 計		2,449	816	211	

(注)割合(%)は、公立高等学校及び特別支援学校高等部における不登校生徒数に対する割合を示している。

4　不登校生徒について把握した事実

（1）公立高等学校

区分＼学校種		不登校生徒数	1 いじめの被害	2 いじめ被害を除く友人関係	3 教職員との関係	4 学業の不振	5 学校のきまり等	6 転編入学、進級時の不適応	7 家庭生活の変化	8 親子の関わり方	9 生活リズムの不調	10 あそび、非行	11 学校生活	12 不安・抑うつ	13 障害（疑いを含む）	14 個別の配慮（13以外）	15 左記に該当なし
全日制	不登校生徒について把握した事実（複数回答可）	2,449	26	209	34	373	49	137	127	130	644	106	719	247	32	25	171
			1.1%	8.5%	1.4%	15.2%	2.0%	5.6%	5.2%	5.3%	26.3%	4.3%	29.4%	10.1%	1.3%	1.0%	7.0%
定時制	不登校生徒について把握した事実（複数回答可）	816	1	70	9	80	5	27	29	53	174	43	289	79	7	7	39
			0.1%	8.6%	1.1%	9.8%	0.6%	3.3%	3.6%	6.5%	21.3%	5.3%	35.4%	9.7%	0.9%	0.9%	4.8%
合　計		3,265	27	279	43	453	54	164	156	183	818	149	1,008	326	39	32	210
			0.8%	8.5%	1.3%	13.9%	1.7%	5.0%	4.8%	5.6%	25.1%	4.6%	30.9%	10.0%	1.2%	1.0%	6.4%

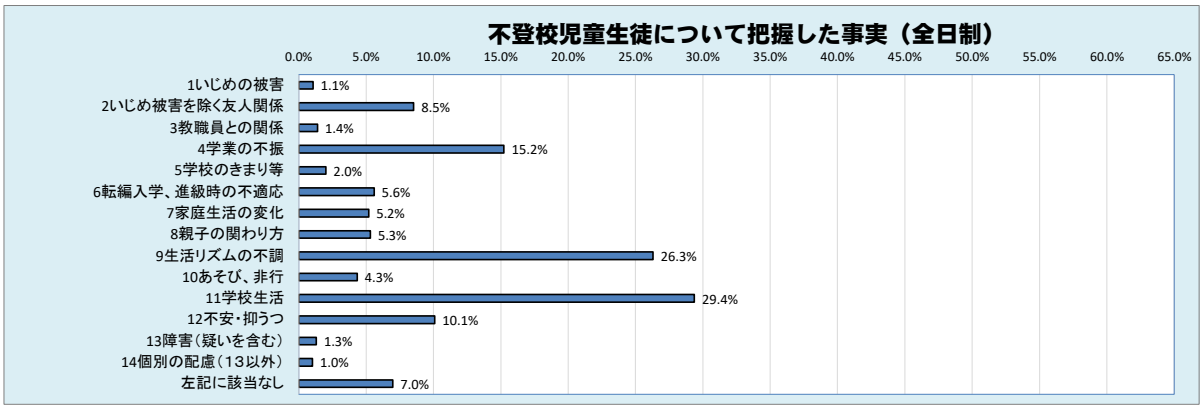
（注1）「長期欠席者の状況」における「不登校」と回答した不登校生徒全員につき回答したもの。

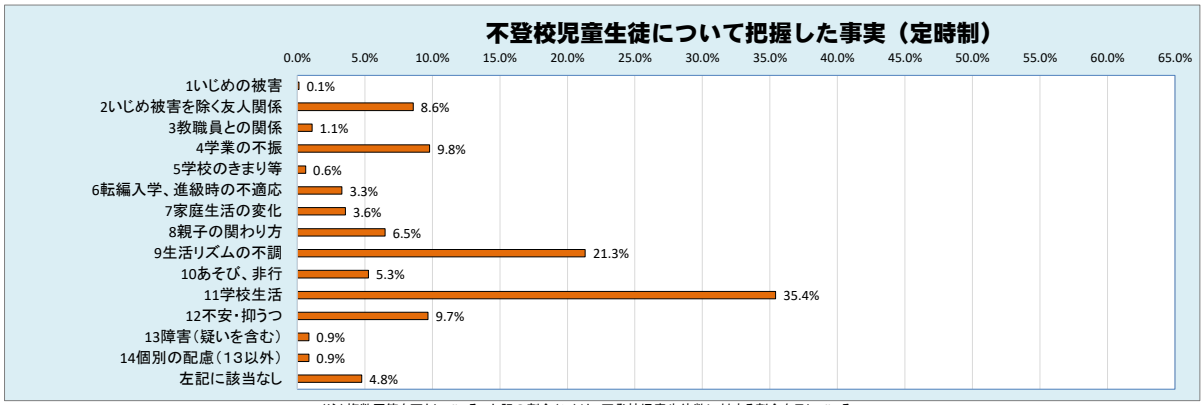
（注2）「相談」は、本人や保護者からの相談であるもの。

（注3）「不登校生徒について把握した事実」については、該当する児童生徒について当てはまる項目を全て回答したもの。
調査票の「区分」については、具体的に次のようなものが考えられる。

＜区分＞

1　いじめの被害の情報や相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・本調査に定義するいじめ被害の事実を把握した情報や当該児童生徒や保護者からのいじめ被害に関する相談
2　いじめ被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談・・・・・・・仲違い、友人が極端に少ない、友人間の問題に関する情報や相談
3　教職員との関係をめぐる問題の情報や相談・・・・・・・・・・・・教職員への反抗や反発、教職員から厳しい叱責や注意に関する情報や相談
4　学業の不振や頻繁な宿題の未提出・・・・・・・・・・・・・・・・成績の不振、授業が分からない、試験が嫌い、宿題の過半数が未提出
5　学校のきまり等に関する相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・制服を着たくない、給食を食べたくない、学校行事に参加したくないことに関する相談
6　入学、転編入学、進級時の不適応による相談・・・・・・・・・・・転編入学したくなかった、クラス替えが自分の願う学級編成や担任ではなかったことに関する相談
7　家庭生活の変化に関する情報や相談・・・・・・・・・・・・・・・両親の離婚、親の単身赴任、家族の病気に関する情報や相談
8　親子の関わり方に関する問題の情報や相談・・・・・・・・・・・・親の叱責、親の言葉・態度への反発、親の過干渉・放任に関する情報や相談
9　生活リズムの不調に関する相談・・・・・・・・・・・・・・・・・朝起きられない、夜眠れない、就寝起床時間が定まらないことに関する相談
10　あそび、非行に関する情報や相談・・・・・・・・・・・・・・・・非行グループに入り非行行為を行うことに関する情報や相談
11　学校生活に対してやる気が出ない等の相談・・・・・・・・・・・・無気力で登校したくないことに関する相談
12　不安・抑うつの相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・登校の意志はあるが、漠然とした不安や気持ちの落ち込みにより登校しない（できない。）ことに関する相談
13　障害（疑いを含む）に起因する特別な教育的支援の求めや相談・・・特別支援学級への在籍、通級指導の利用、特別支援教育支援員の配置、その他の合理的配慮に関する求めや相談
14　個別の配慮（１３以外）についての求めや相談・・・・・・・・・・日本語指導が必要、特定分野に特異な才能を有する、性に関する違和感、感覚過敏に関する求めや相談
15　左記に該当なし・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・本人や保護者等に確認した上で、上記のような情報や相談について把握していない





（注）複数回答を可としている。上記の割合（%）は、不登校児童生徒数に対する割合を示している。
（不登校児童生徒数：全日制2，449人、定時制816人、合計3，265人）

（2）特別支援学校

区分＼学校種		不登校生徒数	1 いじめの被害	2 いじめ被害を友人関係	3 教職員との関係	4 学業の不振	5 学校のきまり等	6 転編入学、進級時の不適応	7 家庭生活の変化	8 親子の関わり方	9 生活リズムの不調	10 あそび、非行	11 学校生活	12 不安・抑うつ	13 障害（疑いを含む）	14 個別の配慮（13以外）	15 左記に該当なし
特別支援学校高等部	不登校児童生徒について把握した事実（複数回答可）	211	0	9	14	1	2	7	4	9	58	4	70	31		11	54
			0.0%	4.3%	6.6%	0.5%	0.9%	3.3%	1.9%	4.3%	27.5%	1.9%	33.2%	14.7%		5.2%	25.6%

５ 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分		全日制		定時制		特別支援学校高等部		合計	
		総数	割合(%)	総数	割合(%)	総数	割合(%)	総数	割合(%)
学校外	(1)①～⑧の機関等での相談・指導等を受けた実人数	348	14.2%	94	11.5%	40	19.0%	482	13.9%
	指導要録上出席扱いとなった実人数	17		6		0		23	
	①教育支援センター(適応指導教室)	9	0.4%	7	0.9%	0	0.0%	16	0.5%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0		0	
	②教育ｾﾝﾀｰ等教育委員会所管の機関(①を除く)	9	0.4%	1	0.1%	0	0.0%	10	0.3%
	指導要録上出席扱いとなった人数	1		0		0		1	
	③児童相談所、福祉事務所	76	3.1%	19	2.3%	6	2.8%	101	2.9%
	指導要録上出席扱いとなった人数	10		1		0		11	
	④保健所、精神保健福祉センター	5	0.2%	11	1.3%	1	0.5%	17	0.5%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0		0	
	⑤病院、診療所	224	9.1%	48	5.9%	24	11.4%	296	8.5%
	指導要録上出席扱いとなった人数	6		3		0		9	
	⑥民間団体、民間施設(⑦を除く)	18	0.7%	1	0.1%	4	1.9%	23	0.7%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0		0	
	⑦障害児支援施設	2	0.1%	1	0.1%	3	1.4%	6	0.2%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0		0	
	⑧上記以外の機関等	24	1.0%	10	1.2%	10	4.7%	44	1.3%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		2		0		2	
	(2)①～⑧の機関等での相談・指導等を受けていない人数	2,101	85.8%	722	88.5%	171	81.0%	2,994	86.1%
	(3)　(1)、(2)の合計	2,449		816		211		3,476	
学校内	(4)　⑨～⑪による相談・指導等を受けた実人数	1,340	54.7%	413	50.6%	61	28.9%	1,814	52.2%
	⑨養護教諭による専門的な指導を受けた人数	685	28.0%	196	24.0%	12	5.7%	893	25.7%
	⑩スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	647	26.4%	208	25.5%	25	11.8%	880	25.3%
	⑪校内教育支援センター等で教員や支援員等による相談・指導を受けた人数	265	10.8%	24	2.9%	49	23.2%	338	9.7%
	(5)上記⑨～⑪による相談・指導等を受けていない人数	1,109	45.3%	403	49.4%	150	71.1%	1,662	47.8%
	(6)　(4)、(5)の合計	2,449		816		211		3,476	
	(7)上記①～⑧、⑨～⑪による相談・指導等を受けていない人数	1,019	41.6%	393	48.2%	128	60.7%	1,540	44.3%
	(8)うち、教職員から継続的な相談・指導等を受けていた人数	993	40.5%	389	47.7%	113	53.6%	1,495	43.0%

(注)複数回答を可としている。上記の割合(%)は、不登校生徒数に対する割合を示している。
(不登校生徒数:全日制2，449人、定時制816人、特別支援学校高等部211人　合計3，476人)

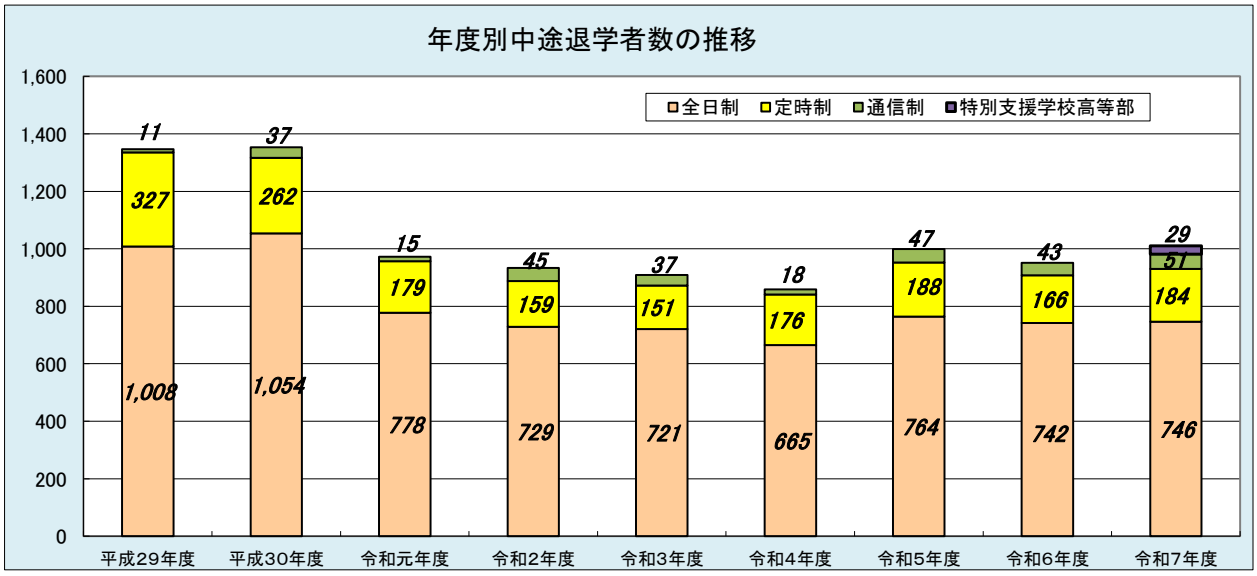
令和7年度　公立高等学校及び特別支援学校高等部の中途退学者数等の状況（千葉県）

1－（1）中途退学者数（在籍者数は、4月1日現在による）

	在籍者数（4/1現在）	中途退学者総数	前年度増減	中退率（%）	前年度比
全日制	84,541	746	4	0.88%	0.01%
定時制	2,508	184	18	7.34%	0.75%
通信制	1,197	51	8	4.26%	0.45%
特別支援学校高等部	2,898	29		1.00%	
合　計	91,144	1,010		1.11%	

1－（2）中途退学者（人数）・中途退学率（%）の推移

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比
全日制	中退者数	1,008	1,054	778	729	721	665	764	742	746	4
	中退率(%)	1.00%	1.06%	0.80%	0.76%	0.79%	0.75%	0.89%	0.87%	0.88%	0.01%
定時制	中退者数	327	262	179	159	151	176	188	166	184	18
	中退率(%)	11.43%	9.54%	6.72%	6.04%	6.07%	7.04%	7.57%	6.59%	7.34%	0.75%
通信制	中退者数	11	37	15	45	37	18	47	43	51	8
	中退率(%)	1.01%	3.54%	1.73%	4.10%	3.97%	1.99%	4.47%	3.81%	4.26%	0.45%
特別支援学校高等部	中退者数									29	
	中退率(%)									1.00%	
合　計	中退者数	1,346	1,353	972	933	909	859	999	951	1,010	
	中退率(%)	1.29%	1.31%	0.96%	0.94%	0.96%	0.93%	1.12%	1.07%	1.11%	



2-(1) 全日制学年別中途退学者数

学年	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)	中退率 前年比	割合 (%)	割合 前年比
1	21,554	354	1.64%	0.05%	47.5%	0.3%
2	21,262	238	1.12%	0.13%	31.9%	3.1%
3	20,831	85	0.41%	0.01%	11.4%	△0.1%
単位制	20,894	69	0.33%	△0.12%	9.2%	△3.3%
合 計	84,541	746	0.88%	0.01%	100%	

(注)割合(%)は、中途退学者の合計に対する割合を示している。

2-(2) 定時制・通信制中途退学者数

課程	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)	中退率 前年比
定時制	2,508	184	7.34%	0.75%
通信制	1,197	51	4.26%	0.45%
合 計	3,705	235	6.34%	0.61%

2-(3) 特別支援学校高等部中途退学者数

学年	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)
1	1,014	11	1.08%
2	934	9	0.96%
3	950	9	0.95%
合 計	2,898	29	1.00%

3 中途退学の理由別割合

中途退学の理由		全日制			定時制			通信制			特別支援学校高等部			合 計		
		総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比
学業不振		124	16.6%	8.8%	7	3.8%	△1.6%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%		131	13.0%	
学校生活・学業不適応		401	53.8%	△3.3%	116	63.0%	3.4%	51	100.0%	100.0%	4	13.8%		572	56.6%	
進路変更	別の高校及び特別支援学校高等部への入学を希望	88	11.8%	△0.6%	32	17.4%	2.9%	0	0.0%	0.0%	5	17.2%		125	12.4%	
	専修・各種学校への入学を希望	7	0.9%	0.8%	0	0.0%	△0.6%	0	0.0%	0.0%	2	6.9%		9	0.9%	
	就職を希望	48	6.4%	1.3%	5	2.7%	△5.1%	0	0.0%	0.0%	5	17.2%		58	5.7%	21.4%
	高卒程度認定試験受験を希望	13	1.7%	△1.5%	0	0.0%	△2.4%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%		13	1.3%	
	その他	8	1.1%	△0.2%	2	1.1%	△1.3%	0	0.0%	△100.0%	1	3.4%		11	1.1%	
病気けが死亡		15	2.0%	△0.7%	2	1.1%	△0.7%	0	0.0%	0.0%	3	10.3%		20	2.0%	
経済的理由		0	0.0%	△0.1%	1	0.5%	0.5%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%		1	0.1%	
家庭の事情		12	1.6%	△1.6%	11	6.0%	4.8%	0	0.0%	0.0%	8	27.6%		31	3.1%	
問題行動等		22	2.9%	△1.5%	2	1.1%	△0.1%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%		24	2.4%	
その他の理由		8	1.1%	△1.2%	6	3.3%	0.3%	0	0.0%	0.0%	1	3.4%		15	1.5%	
合 計		746	100%		184	100%		51	100%		29	100%		1,010	100%	

(注1)上記の割合(%)は、中途退学者数に対する割合を示している。

(中途退学者数:全日制746人、定時制184人、通信制51人、特別支援学校高等部29人)

(注2)資料中の割合の欄は四捨五入で処理した数値のため、合計と合わない場合がある。